

公益財団法人

2025年度

渥美国際交流財団年報

**ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION
ANNUAL REPORT 2025**



渥美伊都子
(1928-2026)

渥美健夫
(1919-1993)

渥 美国際交流奨学財団は故渥美健夫鹿島建設
名誉会長の遺志に基づき日本の国際化の推
進にささやかながらもお役に立ちたいという
願いをこめて、渥美伊都子夫人により1994年4月1日
に設立されました。

当財団は国籍を問わず日本の大学院の博士課程に在籍している優秀な学生に奨学援助をいたします。奨学生の皆さんが、学問を成就するだけでなく、豊かな文化や社会に触れ、より大きな収穫を得ることができま
すようお手伝いさせていただきたいと思ひます。

若者たちがより大きな世界を知るよう支援させていただくことによって、人々の心の中に国際理解と親善の芽が生まれ、やがては世界平和への道が開かれてゆくことを願っております。

目次

CONTENTS

理事長挨拶 2

■ 追悼 3

■ 奨学事業 5

| | |
|---------------------|----|
| 渥美奨学金の概要 | 6 |
| 2025年度渥美奨学生（31期生）紹介 | 7 |
| 最初の集い | 8 |
| 理事長講演会とBBQ | 8 |
| 葦崎ワークショップ | 9 |
| 2024年度渥美奨学生秋季研究報告会 | 10 |
| 工事現場見学会 | 10 |
| 偲ぶ会 | 11 |
| ラクーン会 | 11 |
| 2025年度渥美奨学生春季研究報告会 | 12 |

■ 国際交流事業 13

| | |
|---------------------------------|----|
| SGRAの概要 | 14 |
| 第75回SGRAフォーラム・第45回持続的な共有型成長セミナー | 15 |
| 第46回～第49回持続的な共有型成長セミナー | 15 |
| 第76回SGRAフォーラム | 16 |
| 第77回SGRAフォーラム | 17 |
| 第78回SGRAフォーラム・第5回アジア文化対話 | 18 |
| 第19回SGRAチャイナ・フォーラム | 19 |
| 第23回日韓アジア未来フォーラム | 20 |
| 第12回日台アジア未来フォーラム | 20 |
| 第1回日印アジア未来フォーラム | 21 |
| 東アジア日本研究者協議会 第9回学術大会 | 22 |
| 第6回国際和解学会（IARS） | 22 |
| 第8回日韓青少年歴史対話 | 23 |
| 第18回ウランバートル国際シンポジウム | 23 |

■ 2025年度出版一覧 24

■ 2025年度SGRAラーニング配信一覧 25

■ 財団運営

| | |
|----------------------|----|
| 2025年度業務日誌 | 26 |
| 財務諸表 | 27 |
| 財団人名簿 | 28 |
| 奨学生名簿 | 29 |
| 2025年度の活動にご協力いただいた皆様 | 36 |

ごあいさつ

理事長 渥美直紀



日頃より渥美財団の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当財団の創立者であり、1994年の設立以来27年間にわたり理事長を務めました渥美伊都子顧問が、2026年1月12日、97歳の生涯を閉じました。奨学生の皆さんとの交流を楽しみにして、月例会やSGRAのイベントには必ず出席していました。母国に戻られた奨学生からご招待を受け、台湾、イタリア、中国を訪ねて行ったことをとても喜んでいました。「日本のお母さん」として慕われ、奨学生一人ひとりに家族のように寄り添いながら、温かな国際交流の輪を広げました。このつながりは当財団の大切な財産であり、今後も大事に受け継いでまいります。ここに改めて深い哀悼の意を表しますとともに、生前に賜りましたご厚情に心より感謝申し上げます。

さて、渥美財団では設立以来、奨学生の募集対象地域を、所属大学院研究科の所在地および居住地ともに関東地方としてまいりました。これは、毎月開催する月例会等への対面参加を基本としてきたためですが、オンラインの普及も踏まえ、2026年度奨学生からは対象地域を近畿地方まで拡大することといたしました。また、採用人数も2名増やし、18名といたします。優秀な人材が各地に広がる中、将来を担う若者をより幅広い地域から募集・支援することで、公益目的事業としての意義をさらに高めてまいります。

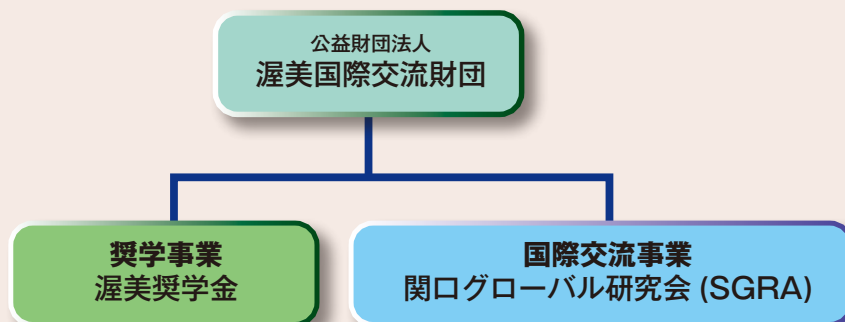
世界各地で紛争や対立が続く中、相互理解と信頼に基づく国際交流の重要性は、これまで以上に高まっています。当財団は、「よき地球市民」の実現という理念を大切にしながら、人と人とのつながりを育み、多様な価値観を尊重し合う社会の実現に向けた人材の育成と交流の促進に、着実に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

渥美財団のふたつの公益事業

渥美財団の事業は大きくふたつに分かれます。

奨学事業と国際交流事業（SGRA）です。



追悼

渥美財団創立者であり、長年理事長を務められた
渥美伊都子顧問は2026年1月12日、
97歳のご生涯を閉じられました。
ここに謹んで深甚なる哀悼の意を表しますとともに、
生前に賜りましたご厚情に対し心より御礼申し上げます。



毎年の新年会では、伊都子顧問の誕生日を祝うことが恒例となっていました。2016年の新年会では米寿を迎えられ、奨学生たちから「88」をかたどった大きなケーキと花束が贈られました。

思い出

渥美国際交流財団設立以来31年にわたり、理事長・顧問として約400名の留学生および日本人学生を支援されました。奨学生一人ひとりに家族のように寄り添い、「日本のお母さん」と慕われ、奨学期間終了後も続く国際的な学術交流ネットワークを築かれました。



2014年8月第2回アジア未来会議「多様性と調和」インドネシアバリ島にてラクーンの皆と記念写真。



渥美伊都子さま
ありがとうございました。
そのお心は、
これからも私たちと共にあります。
絵と文：陳 龔さん（'17 狸）



2020年8月第5回アジア未来会議 in フィリピン懇親会で。



1月19日（月）に遷霊祭・通夜祭、翌20日（火）に葬場祭・告別式が、護国寺桂昌殿（東京都文京区）において執り行われました。生前親交の深かった多くの関係者が参列し、最期の別れを惜しみました。

奨学事業

奨学事業からネットワークへ

渥 国際交流財団は、奨学生の皆さんに自分とは異なる分野の人々と出会い、話し合う場を提供したいと思います。そのためにも、毎月例会を開催し、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間が終わった後も連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的な規模の人的ネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。

2025 年度 of 主な活動

- 2025年度渥美奨学生（31期生）紹介 p7
- 最初の集い p8
- 理事長講演会とBBQ p8
- 葦崎ワークショップ p9
- 2024年度渥美奨学生秋季研究報告会 p10
- 工事現場見学会 p10
- 偲ぶ会 p11
- ラクーン会 p11
- 2025年度渥美奨学生春季研究報告会 p12

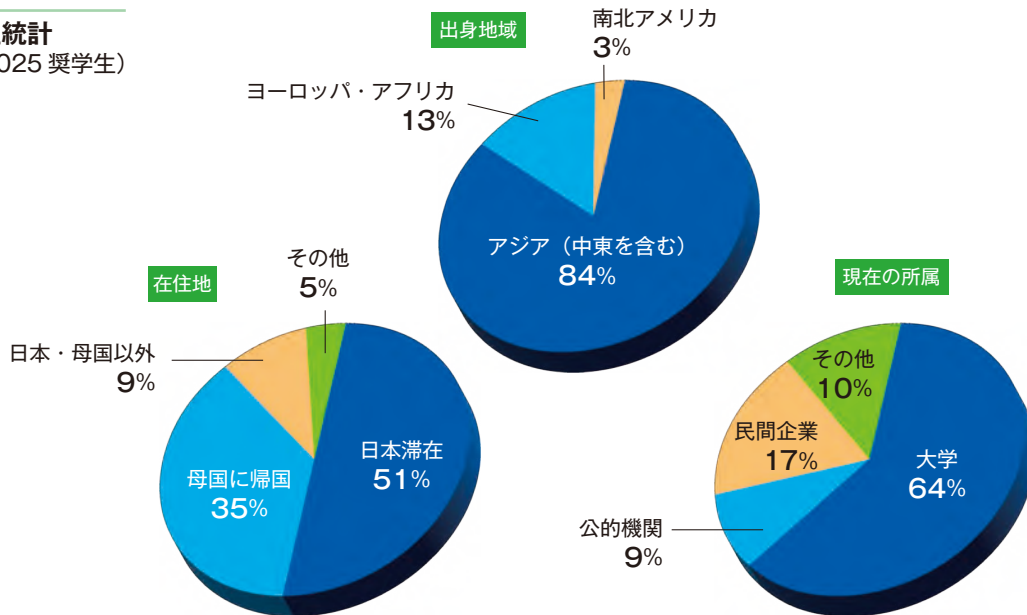


詳細は AISF ニュースをご参照ください。
<https://www.aisf.or.jp/jp/newslist.php?y=2025>

渥美奨学金の概要

渥美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍して博士論文を執筆している留学生および日本人学生を対象に、毎年奨学生を募集・選考し、月額25万円の奨学金を支給しています。支給年限は1年間で、継続は認められません。奨学生の専攻分野と国籍に制限はありません。2025年度（31期生）までに、54ヶ国・地域、398人を支援してきました。

渥美奨学生統計
(1995～2025 奨学生)



募集および選考

※ 2026年度奨学生募集から、近畿地方の応募を追加しました。

■ 応募資格（下記のすべてに該当すること）

1. 日本の大学院の博士課程に在籍し、年度内に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。
2. 渥美奨学金受給期間、所属する大学院研究科（研究室）と居住地が、関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）または近畿地方（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、三重県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意志のある方。
4. 日本語が堪能な方（応募書類と面接は日本語だけです）。日本人は外国語能力が高いことが望ましいですが条件ではありません。
5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方（当財団は常勤の方の受給、および月額10万円以上の他の奨学金との重複受給は認めません）。

■ 応募方法

奨学金希望者は、毎年7月以後、各大学院の留学生奨学金担当課または当財団事務局まで、募集要項をご請求ください。募集要項は当財団のホームページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年9月に受け付けます。

■ 選考の方法

予備選考委員による書類と面接での予備審査の後、最終選考委員会による書類選考と面接試験により審査します。

選考の方針（抜粋）

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えています。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との調和ある発展に貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

2025年度渥美奨学生（31期生）紹介



〈博士論文テーマ〉
円滑なコミュニケーションの道具としての
モダリティ・マーカー
ドムプロフスカ フアニタ ロクサナ
DABROWSKA Juanita Rokksana (ポーランド)
立教大学大学院 異文化コミュニケーション



〈博士論文テーマ〉
マイクロ流体工学を用いた、
抗体機能スクリーニングの開発
西本 和生 NISHIMOTO Kazuki (日本)
東京大学大学院 知能機械情報学



〈博士論文テーマ〉
占領期日本の「子ども」と移動と文化的想像力
エンヒバイヤル ノミンエルデネ
ENKHBAYAR Nomin-Erdene (モンゴル)
筑波大学大学院 人文学



〈博士論文テーマ〉
ゴキブリから探る昆虫：微生物共生
野田 智仁 NODA Tomohito (日本)
東京大学大学院 生物科学



〈博士論文テーマ〉
中・近世醍醐寺における顕密教学史
姜 錫正 KANG Suk-Jung (韓国)
日本女子大学大学院 史学



〈博士論文テーマ〉
一般病棟における認知症高齢者の
自律・自立を支援するための
環境づくり看護実践ガイドの開発
岡本 聡美 OKAMOTO Satomi (日本)
千葉大学大学院 看護学



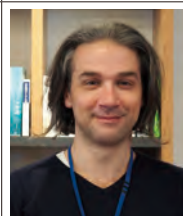
〈博士論文テーマ〉
戦後文学における天皇（制）表現史研究：
戦後・文学・天皇（制）の交錯を中心に
李 在昶 LEE Jae-Chang (韓国)
東京大学大学院 言語情報科学



〈博士論文テーマ〉
小説という舞台、語りという媒体：
太宰治文学におけるパフォーマンスと
翻訳の（不）可能性
シルウィーディ サラ サイド ムハマド エルサイド
SHERWEEDY Sarah Sayed Mohamed Elsayed (エジプト)
東京外国語大学大学院 国際日本



〈博士論文テーマ〉
近世中国の政治文化と明治維新：
水戸学派を中心に
廖 嘉祈 LIU Sheldon (香港)
東京大学大学院 アジア文化研究



〈博士論文テーマ〉
学習支援 AI ツールによる
シリアスゲームデザインモデルの強化：
デジタルモデルの評価と更新に関する
複数研究アプローチ
スパーノ ファビオ SPANO Fabio (イタリア)
国際基督教大学大学院 アーツサイエンス



〈博士論文テーマ〉
場所と「雰囲気」のインターディフュージョン
による地域芸術活動の形成
路 夢瑤 LU Mengyao (中国)
武蔵野美術大学大学院 造形構想



〈博士論文テーマ〉
うつ病に対する効率型認知行動療法の
実施可能性及び予備的有効性に資する研究
梅本 育恵 UMEMOTO Ikue (日本)
東京慈恵会医科大学大学院 脳病態制御学



〈博士論文テーマ〉
帝王切開術後当日から電動さく乳器を用いた
乳汁生成支援プログラム：準実験研究
宮内 愛 MIYAUCHI Ai (日本)
聖路加国際大学大学院 助産学



〈博士論文テーマ〉
中国における「失業消滅」の舞台裏：
社会主義下の失業をめぐる政治過程
許 楽 XU Yue (中国)
慶應義塾大学大学院 政治学



〈博士論文テーマ〉
日本語母語話者によるベトナム語の量化表現の
習得：コーパスに基づく実証的研究
グエン ヤ トー アイ ユー
NGUYEN Gia Thoai Du (ベトナム)
東京外国語大学大学院 世界言語社会



〈博士論文テーマ〉
哥老会からみた中華民国時期（1911-1949）
の国家と社会
楊 家鑫 YANG Jiaxin (中国)
筑波大学大学院 歴史・人類学

最初の集い

2025年4月4日（金）
於：KX-LAB

「ランチを食べながらの自己紹介タイム」は、名前（併せて呼ばれたい愛称）・大学名・出身地とともに、3つのお題から1つを話すこと。今年度のお題は「好きな都市や街」・「自分について（実は自分はこういう人間です）」・「忘れられない食事や食べておいしかったもの」。各々の研究内容や普段の興味などを知ることができた。



理事長講演会とBBQ

2025年7月19日（土）
於：今西常務理事邸

梅雨明け宣言の翌日、夕刻4時から理事長講演会と「真夏のBBQ」を開催。今年は今西常務理事邸の1階を会場に、ラクーン（元奨学生）とご家族を含め約70名がBBQに参加し、会場のあちこちで歓談の輪が広がった。



理事長の講演は創業185周年を迎えた鹿島建設の「歴史と技術」がテーマ。講演終了後は、お待ちかねのBBQ交流会へと移行し、料理人のパフォーマンスを見ながら、「塊」から2時間以上かけて焼き上げたチキン、ラム、ポーク、ビーフのBBQに一同舌鼓を打った。子どもたちも交えたスイカ割りのセッションでは何度も歓声があがり、日が暮れるまで楽しい交流のひとつを過ごした。

韮崎ワークショップ

2025年7月4日(金)～6日(日)
於：シャトレゼホテルにらさきの森
(山梨県韮崎市)

天候に恵まれ、夏らしい日差しと気温を感じながら新宿を出発し、自然に囲まれたにらさきの森で2泊3日のワークショップを開催。今年のテーマ「創発×情報」について、異なる国籍、文化のメンバーと対話を重ね、思考と親睦を深めた。



往路は昇仙峡で昼食をとり、日本一美しいと言われる渓谷を散策したり、影絵の森美術館でアート作品を愉しんだりした。



2日目は4つのセッションが行なわれた。セッション1：「創発×情報」(森さん'22狸)、セッション2：「言葉とアイデンティティ」(ソイヤさん'12狸)、セッション3：「From Chaos to Computation」(スディーラさん'24狸)、セッション4：「自分自身を『情報×創発』と重ねて」(陳さん'19狸)。セッション終了後は心地良い屋外でBBQを楽しんだ。



3日目はセミナールームで最後のセッションを実施。A1サイズの模造紙1枚に2日間のみとめを自由に絵にするという創造性が要求されるテーマが与えられた。どのグループもカラフルかつ前向きな発表で、セッションを締めくくった。



最後に、1年後の自分への手紙を残して帰路についた。奨学生同期、先輩ラウン、財団スタッフと、互いに絆を深めた3日間だった。

2024年度渥美奨学生 秋季研究報告会

2025年9月27日(土)
於：KX-LAB およびオンライン

人文学から社会科学まで幅広い分野から計8名の2024年度奨学生在が登壇。研究テーマはオスマン帝国史から現代日本文学、社会福祉実践まで多岐にわたり、多文化的・学際的な視座を提示した。各発表後には、指導教授の先生方から一人ひとりに対して丁寧なコメントと質問が寄せられた。



発表者は、岩田和馬さん、マスニン ムハammad ファリス シノン ビンさん、顧嘉晨さん、佐藤祐菜さん、邱政芃さん、崔民赫さん、大元慶子さん、崔高恩さんの8名。2024年度および2025年度奨学生が、会場設営から司会進行やタイムキープまでを担った。

コメントをお寄せくださった指導教官の先生方と、財団理事の先生方。



登壇した奨学生たちにとってはそれぞれの博士論文の意義と方向性をあらためて確認する機会となり、来場した奨学生やラウンたちにとっても、専門分野を越えた研究者同士、先生方との対話を通じて、自分の研究を異なる角度から見直す契機になった。

工事現場見学会

2025年11月26日(水)
於：みなとみらい21線 車両留置場建設工事

工事概要についてのレクチャーを受けた後、現場へ移動。深さ約20メートルの地下で、自動化されたコンクリート吹付機を始めとする様々な設備が並ぶ工事中のトンネルを見学した。掘削の最前線である切羽の光景を目の当たりにし、自然の雄大さとそれに挑む人間の技術力に強く心を打たれる経験となった。



普段目にする事のない土木工事の世界に触れ、当たり前だと思っていた日常がいかに多くの技術と努力に支えられているかを考えさせられた。

偲ぶ会

2026年1月24日(土)
於：椿山荘

今年は椿山荘を会場に、98歳の誕生日をお祝いするはずだった新年会は、急逝された伊都子顧問を偲ぶ会となった。2025年度奨学生からお誕生日プレゼントとして贈られる予定だった花瓶に皆が一輪ずつ持ち寄った花が飾られた。



最初に渥美直紀理事長が伊都子顧問の最期の日々について語り、続いて1期生の施建明さん('95狸)が財団創設以来、伊都子顧問がいかに奨学生を支え続けてこられたかを語った。単なる奨学支援ではなく、国や言葉、文化を越えた人と人との触れ合いの場をつくること、その交流が国際理解の礎となるようにとの伊都子顧問の思いを改めて感じさせるひとときとなった。

ラクーン会



2025年度は、韓国、台湾、インドネシア、中国の4カ所でラクーン会を開催。それぞれの国で活躍するラクーンたちと、懐かしくも温かい親睦の時間を楽しんだ。



7月16日(水) in ソウル
平日の昼間にもかかわらず、名幹事の鄭淳一さん('11狸)をはじめ、10名のラクーンが駆けつけてくれた。



10月16日(木) in 台北
コロナ禍後初めてのラクーン会@台湾。美味しくも暖かい台湾ラクーン会がこれからも続きますように。



10月27日(月)
in ジョクジャカルタ
第9回アジア未来会議を共同開催するMOUの署名のためインドネシアを訪問した今西常務理事を囲んで。



11月21日(金) in 北京
会場は1期生の金熙さん('95狸)の別荘! ご自分の畑で育てた野菜などを使った奥様の手料理の数々を満喫した。

2025年度渥美奨学生 春季研究報告会

2026年3月7日(土)
於：KX-LAB およびオンライン

KX-LABにて2025年度奨学生研究報告会が開催された。当日は渥美直紀理事長の挨拶をかわきりに、8名の奨学生が成果を発表。これまでで最も多い5名の指導教官の先生が会場でコメントをして下さった。奨学生の皆さんを労う温かいエピソードや、それぞれの研究テーマがいかに意義深いものであるかなど熱い口調で語られた。



コメントをお寄せくださった指導教官の先生方と、財団理事の先生方。

発表者は、ドムブロフスカフアニタ ロクサナさん、エンヒバイヤル ノミンエルデネさん、姜錫正さん、路夢瑤さん、宮内愛さん、野田智仁さん、シルウィーディ サラ サイド ムハマド エルサイドさん、梅本育恵さんの8名。



2024年度および2025年度奨学生が司会進行やタイムキーパーなどを務め、真剣なまなざしで同期や後輩の発表を見守った。



研究に向かう熱意や研究内容のユニークさ、問題意識と研究の意義等がぎゅっと詰まった4時間は瞬間に過ぎ、指導教官の先生からは示唆に富むご講評をいただくなど、終始和やかな雰囲気のもと、有意義な会となった。皆さんのこれからのご活躍をお祈りいたします。

国際交流 事業

良き地球市民の実現をめざす

渥美財団の国際交流活動を担うのが、SGRA（関口グローバル研究会）です。SGRAは、地球社会の平和と調和ある発展に寄与する研究と学术交流を推進するため、一定分野の専門家ではなく、広く社会全般を対象にフォーラム、レポート、メールマガジン、ホームページ等を通じて社会に発信しています。

2025 年度の主な活動

- 第75回 SGRA フォーラム・第45回持続的な共有型成長セミナー p15
- 第46回～第49回持続的な共有型成長セミナー p15
- 第76回 SGRA フォーラム p16
- 第77回 SGRA フォーラム p17
- 第78回 SGRA フォーラム・第5回アジア文化対話 p18
- 第19回 SGRA チャイナ・フォーラム p19
- 第23回日韓アジア未来フォーラム p20
- 第12回日台アジア未来フォーラム p20
- 第1回日印アジア未来フォーラム p21
- 東アジア日本研究者協議会 第9回学術大会 p22
- 第6回国際和解学会 (IARS) p22
- 第8回日韓青少年歴史対話 p23
- 第18回ウランバートル国際シンポジウム p23



詳細は SGRA イベントの報告をご参照ください。
<https://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>

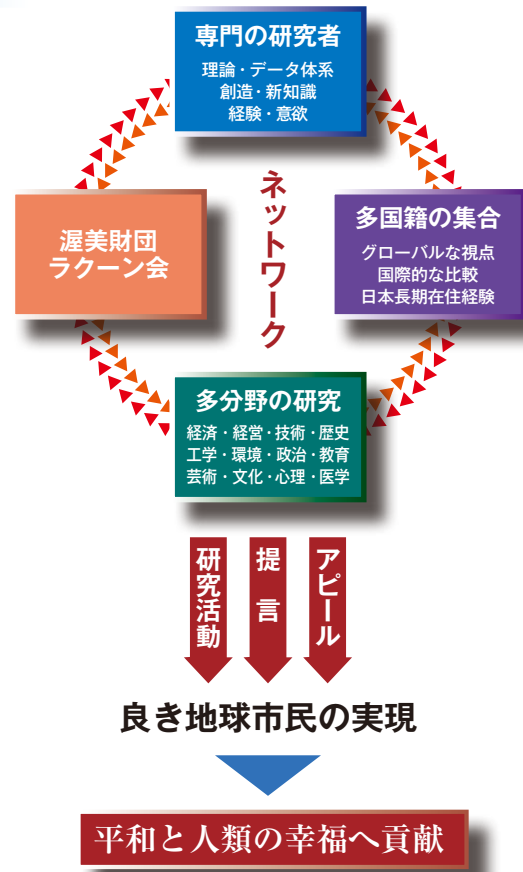
SGRAの概要



SGRAとは

関口グローバル研究会 (Sekiguchi Global Research Association/SGRA) は、良き地球市民 (Global Citizen) の実現に貢献することを目標に 2000 年に設立されました。渥美国際交流財団の所在地、東京都文京区「関口」に因みます。SGRA は日本の大学院で博士号の取得を目指して研究を行い、渥美奨学生として共に過ごした外国人および日本人の研究者が中心となり、現代の課題に立ち向かうための研究や提言を、フォーラムやレポート等を通じて社会に発信しています。幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な活動が狙いで、多国籍の研究者が広汎な知恵とネットワークを結集し、多面的なデータを用いて分析・考察を行います。

SGRAの特徴



主な事業

SGRA フォーラムなどの学術交流事業

以下の活動テーマに沿った円卓会議、SGRA フォーラム、SGRA カフェなどの学術交流活動を実施します。

- ・ 国史たちの対話
- ・ 越境する文化芸術
- ・ 安全保障と世界平和
- ・ 構想アジア
- ・ 持続的な共有型成長
- ・ 地球市民
- ・ 環境とエネルギー
- ・ 科学技術と教育
- ・ 東アジアの人材育成
- ・ ジェンダーと社会
- ・ 宗教と現代社会
- ・ 日本の独自性

アジア未来会議

国際的かつ学際的なアプローチを基本として、グローバル化に伴って生起するアジアそして地球社会の様々な課題を多面的に議論する〈場〉を提供します。毎回 20 か国以上から 500 人を超える参加者を得て、2 年に 1 度、アジア各地で実施しています。

SGRA の活動の成果は AFC 優秀論文集、SGRA レポート、ホームページ、メールマガジン等で発信しています。

海外の研究機関等との共同プロジェクト

- **日韓アジア未来フォーラム**
韓国 (財) 未来人力研究院との共同開催。社会科学や人文科学における諸課題を複眼的に考察するフォーラム。
- **SGRA チャイナ・フォーラム**
北京を拠点とする「清華東亜文化講座」の協力を得て、北京を中心とした中国の大学や研究所で毎年開催。文化に焦点を当てて日中交流史の再検討を試みるフォーラム。
- **日台アジア未来フォーラム**
台湾の大学と共同で毎年開催。日本、台湾に共通する社会科学、人文科学のテーマを考察するフォーラム。
- **日印アジア未来フォーラム**
アジア全域における持続可能かつ相互に有益な学術的パートナーシップの基盤を築くことを目標とするフォーラム。
- **持続的な共有型成長セミナー**
1970 年代に日本が成し遂げた「共有型成長」の研究をキーに据え、フィリピンにおける諸課題を検討するセミナー。
- **ウランバートル国際シンポジウム**
モンゴルの国際研究所と共催。モンゴルや日モ関係に関する歴史学や社会学的な課題について国際的かつ学際的に検討するシンポジウム。

SGRA かわらばん

SGRA フォーラム等のお知らせと、世界各地からの SGRA 会員のエッセイを、毎週木曜日に電子メールで配信しています。SGRA かわらばんは、どなたにも無料でご購読いただけます。購読ご希望の方は、ホームページから購読登録していただけます。



第75回SGRA フォーラム・ 第45回持続的な共有型成長セミナー

東アジア地域市民の対話

国境を超える地方自治体・
地域コミュニティ連携構想 (LLABS) の可能性を探る

日 時：2025年4月12日(土)
 会 場：桜美林大学 新宿キャンパス創新館およびオンライン
 言 語：日英同時通訳付き
 主 催：第75回SGRAフォーラム実行委員会
 共 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会、桜美林大学グローバル・
 コミュニケーション学群、フィリピン大学オープンユニバーシティ

本フォーラムでは、フェルディナンド・C・マキト氏が主導する「持続可能な共有成長セミナー」を通じて、主にフィリピンで検討されてきた LLABS 構想 (国境を超える地方自治体・地域コミュニティ連携構想: Local-to-Local-Across Border Schemes) を検討。桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群とSGRAの協力のもと、北東アジアの研究者と一緒に議論し、実現の可能性について探った。



第1部はフェルディナンド・C・マキト氏 (フィリピン大学 / '95 狸) による基調講演。第2部は佐藤考一氏 (桜美林大学)、李鋼哲氏 (INAF 研究所 / '99 狸)、南基正氏 (ソウル大学日本研究所 / '96 狸)、林泉忠氏 (東京大学東洋文化研究所 / '00 狸) がそれぞれ日本、中国、韓国、台湾からみた LLABS の可能性について発表。第3部「市民の意見」ではフィリピン、インドネシア、タイからの視点も語られた。

持続的な共有型成長セミナー

第46回～第49回

方 法：フィリピン大学オープン大学&オンライン
 言 語：英語
 共 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会 (SGRA)、
 フィリピン大学ロスバニョス校・フィリピン大学オープン大学

本セミナーは、「成長の共有」の研究をベースとして、経済成長の果実を社会で共有することにより公正で効率的な環境にやさしい社会を実現するための政策提言を目的としている。2025年度は上記第75回SGRAフォーラムとの共同開催を含め、全5回開催した。



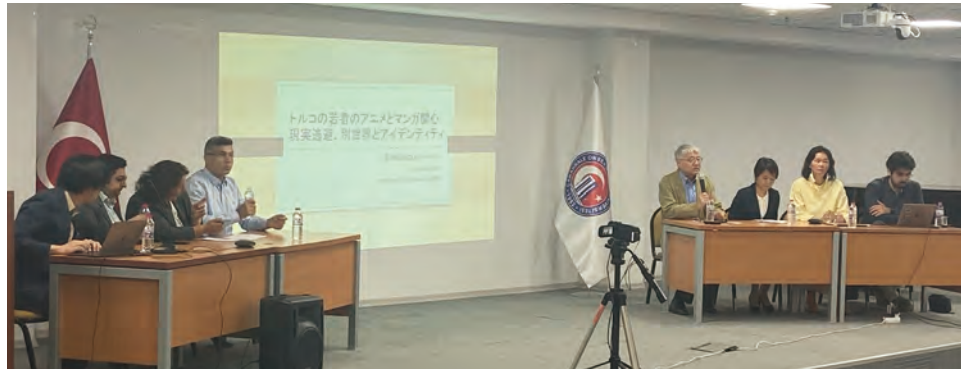
- [セミナーテーマ一覧]
- 【第46回】「WHAT THE WORLD NEEDS NOW IS LLABS」
7月31日(木)
 - 【第47回】「SUSTAINABLE FOOD FOREST」
9月18日(木)
 - 【第48回】「TRANSITION TOWNS AT THE FRINGES」
11月21日(金)
 - 【第49回】「THE MANY FACES OF ALITAPTAP: A KAIZEN APPROACH TO COMMUNITY CURRENCY」
2026年2月20日(金)

第76回 SGRA フォーラム

中近東・東南アジアからみる日本と暮らす日本：
それぞれの視点で考える

日 時：2025年5月2日（金）
会 場：チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学（COMU）およびオンライン
言 語：日本語
共 催：渥美国際交流財団関ログローバル研究会（SGRA）、
チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学（COMU）日本語学科

中近東や東南アジアでアニメ・マンガなど日本のポップカルチャーへの関心が急上昇している。一方、日本には中近東や東南アジアの国々から来た多くのイスラム教の移住者がいるが、言語の壁や文化的な違いによる摩擦が大きな課題だ。本フォーラムは、これらの受容や課題を中心に、中近東や東南アジア地域における日本文化の需要を外側と内側からとらえて考察した。



第1部は、レvent・トクソズ氏（NKU 大学）、チェリッキ・メレキ氏（NKU 大学）、アーヤット・ホセイニ氏（テヘラン大学）が登壇。中近東の日本語教育と日本研究の考察を行った。



第2部は、アキバリ・フーリエ氏（神田外国語大学）とミヤ・ロスティカ氏（大東文化大学）が日本文化の受容と日本語教育を内側から議論をするために日本社会と共生する外国人コミュニティ、特にイスラム文化圏から来た移民が直面する問題を深く掘り下げ、解決策を模索した。



フォーラム 2 日前には日本文化室で交流会も開催。日本語教育学科の学生およそ 200 人のトルコの若者たちにとっては日本や中国、インドネシア、カザフスタン、イラン、モロッコからこんなに多くの日本研究者が「現れた！」ことに期待と緊張感があった。初めてトルコで開催した SGRA フォーラムの議論の内容は多様だったが、会場に集まった中近東と東南アジア出身の日本研究者と、トルコの大学生たちは「日本と日本語」という一つの価値観を共有しているのではないかと感じる時間だった。

第77回 SGRA フォーラム

なぜ、戦後80周年を記念するのか？：
ポストトランプ時代の東アジアを考える

日 時：2025年7月26日（土）
会 場：早稲田大学大隈記念講堂 小講堂およびオンライン
言 語：日中同時通訳付き
共 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）、
早稲田大学先端社会科学研究所・東アジア国際関係研究所

終戦80周年を迎えた2025年。アジアの国々は1945年の出来事を各自の歴史認識に基づいて「終戦」「抗戦の勝利」「植民地からの解放」といった表現で語り続けてきた。

本フォーラムでは、日本、中国、韓国、東南アジアの視点から戦後80年の歳月に光を当て、近隣諸国・地域と日本との和解への道を振り返り、平和を追求するアジアの経験と、今日に残る課題を語り合った。

新77回 SGRA フォーラム
「なぜ、戦後80周年を記念するのか？」
～ポストトランプ時代の東アジアを考える～

日 時：2025年7月26日（土）14:00～17:00
会 場：早稲田大学大隈記念講堂 小講堂 および Zoomウェビナー
同時配信：渥美国際交流財団関口グローバル研究会
早稲田大学先端社会科学研究所・東アジア国際関係研究所

主 催：日米・日中・日韓（同時通訳） 参加費無料 要領書あり
お問い合わせ：SGRA事務局 (sgra@aiaf.or.jp)

フォーラムの趣旨
2025年は終戦80周年を迎える。アジアにおける戦後80年にもなっており、アジアをめぐり国際関係が日々変化する中、いかにして平和と安定を確保し、発展を遂げるかが重要な課題となっている。本フォーラムでは、戦後80年の歴史を振り返り、近隣諸国・地域と日本との和解への道を振り返り、平和を追求するアジアの経験と、今日に残る課題を語り合った。

講演者
藤原 博一
（早稲田大学名誉教授・東洋大学名誉教授）
沈 志華
（華東師範大学教授）

本音から冷戦までの道
冷戦、北東アジアの安全保障と
中国対米関係の転換

SGRA
SGRA事務局 (sgra@aiaf.or.jp)

第77回 SGRA 论坛
“为什么要纪念战后80周年？”
～思考“后特朗普时代”的东亚～

日 期：2025年7月26日（星期六）14:00～17:00（北京时间）
会 场：早稻田大学大隈纪念馆 小讲堂 以及 Zoom 网络研讨会
同时直播：渥美国际交流财团关口全球研究会・早稻田大学先端社会科学研究所・东亚国际关系研究所

主 办：日美・日中・日韩（同声传译） 免费入场 有入场券
联系方式：SGRA 秘书处 (sgra@aiaf.or.jp)

论坛宗旨
2025年是二战结束80周年。亚洲正在迎来战后80周年，围绕亚洲的国际关系每天都在发生变化。在这样一个重要时刻，如何确保和平与稳定，如何实现发展，这是一个重要的课题。本论坛将回顾战后80年的历史，回顾东亚与周边国家和地区和解的道路，分享追求和平的亚洲经验，并讨论今天面临的挑战。

演讲嘉宾
藤原 博一
（早稻田大学名誉教授・东洋大学名誉教授）
沈志华
（华东师范大学教授）

从真实到冷战之路
冷战、东北亚的安全保障与
中美关系的变化

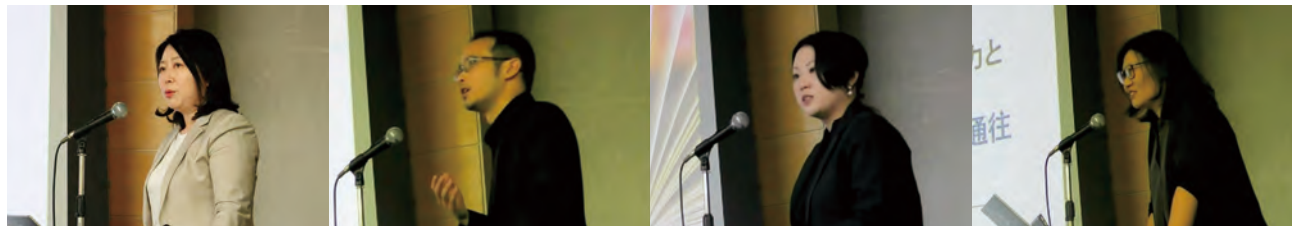
SGRA
SGRA秘书处 (sgra@aiaf.or.jp)



最初の基調講演では沈志華氏（華東師範大学）が、冷戦期における中国の外交戦略が「革命外交」から「実務重視の外交」へと大きく転換した過程を三つの段階に分けて分析した。



次に藤原博一氏（順天堂大学・東京大学）が、「冷戦から冷戦までの間 - 第2次世界大戦後米中関係の展開と日本 -」をテーマに基調講演を行った。



フォーラムの後半は林泉忠氏（東京大学／'00 狸）をモデレーターに、若手研究者による多角的な討論が展開された。権南希氏（関西大学／'09 狸）は、北朝鮮の核開発や露朝の軍事接近、米中露の対立激化により、東アジアの安全保障体制が構造的な不安定性を深めていると分析。ラクスミワタナ・モトキ氏（早稲田大学／'24 狸）は、タイ保守派の陰謀論を分析することを通じて、冷戦が途上国の国内政治に与え、今日まで続く権力構造を形成した影響を考察した。野崎雅子氏（早稲田大学）は、日米中の留学生政策の変化に着目し、国際秩序と知的交流の関係を検討。李彦銘氏（南山大学／'11 狸）は、日中関係における和解の道に焦点を当て、民間交流が持つ和解の可能性を展望し、今後に向けての提言を行った。



第78回 SGRA フォーラム・ 第5回 アジア文化対話 (Asian Cultural Dialogues)・ 第611回 沖縄大学土曜教養講座

アジアにおけるジェンダーと暴力の関係性

日 時：2025年9月13日 (土)
 会 場：沖縄大学3号館101教室およびオンライン
 言 語：日英同時通訳付き
 共 催：渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA)、沖縄大学地域研究所
 助 成：高橋産業経済研究財団

本フォーラムの議論の焦点は沖縄という空間で出会う「アジア的視点」。地上戦を経験し、今なお米軍基地による性暴力事件が絶えない沖縄で、多国籍の専門家が集い、ジェンダーという弱者への配慮を前提とする視点から「過去・現在・未来」まで忘れてはならない普遍的価値を探るものである。専門家や活動家のパネリストによる4つのセッションが設けられ、会場には沖縄市民を含む100人以上、オンラインで200人余りが参加した。



このフォーラムは、洪琬伸氏（沖縄大学 / '08 狸）が中心となって企画され、第1セッションでは、富山一郎氏（同志社大学）による基調講演「暴力に抗する『他者』の眼差し」が行われた。



第2セッションでは、戦争、紛争下の暴力「後」にどのような差別が温存され、それに抗するために女性たちはどのような「実践」連帯や活動を展開できるのかを議論。第3セッションでは「無化された存在」から問う「戦争とジェンダー」が語られた。第4セッションは活動と未来に焦点を当てたパネルで、20代の大学生、活動家が中心となって議論した。



今回のフォーラムは、ジェンダー視点で議論していくという無謀に近い挑戦であったが、登壇者が提起する「暴力」から、身の回りに起きている様々な状況に思いをめぐらし、「暴力」が表れる際の類似性に驚きながら、一定の緊張感を保ちながら聞いて、感じて、考えさせられる場となった。



宮古島でのスタディツアー。17年目を迎える「慰霊と平和を祈念するつどい」に参加し、「アリの碑」に綴られた12か国語の平和への祈りをそれぞれの言語で朗読（左）。朝鮮人軍夫が掘った井戸（右）ほか、島内に刻まれた戦時の記憶をたどった。

第19回 SGRA チャイナ・フォーラム

「琳派」の創造

日 時：2025年11月22日（土）
 会 場：北京大学外国語学院新楼501 およびオンライン
 共 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）、
 北京大学日本文化研究所、清華東亜文化講座
 後 援：国際交流基金北京日本文化センター
 協 賛：鹿島建設（中国）有限公司

本フォーラムは2014年から東北アジア地域の近現代史を「文化と越境」をキーワードとして、「東アジアにおける広域文化史」の可能性を探る議論を重ねてきた。本年は国立近代美術館の学芸員を長く務められた古田亮先生（東京芸術大学 大学美術館教授）をお迎えし、西洋の影響を受けて近代に創られた美術史の言説について考察した。



日本近代美術史の研究者・古田亮氏（東京芸術大学 大学美術館）の講演では、日本美術史において琳派を一つの「流派」と捉える言説が近代にどのように構築されたかが議論された。



指定討論者には（上から順に）、戦暁梅氏（国際日本文化研究センター）、中村麗子氏（東京国立近代美術館）、董麗慧氏（北京大学艺术学院）をお迎えし、活発な議論が行なわれた。



自由討論は澳門大学の林少陽氏（'03 狸）によって進められ、最後に清華東亜文化講座を代表して、王中忱先生より閉会の挨拶があった。同日に多くのシンポジウムが開催される中、会場とオンラインで約150名の参加者が集まり、特に若い世代からのアンケートでも多くの好評を得ることができた。

第23回日韓アジア未来フォーラム

朝鮮半島から読み解く 新しい東北アジアの地政学

日 時：2026年2月20日（金）
 会 場：石川県立図書館食文化体験スペースおよびオンライン
 言 語：日韓同時通訳付き
 主 催：渥美国際交流財団関ログローバル研究会（SGRA）
 共 催：未来人力研究院
 協 力：東北亜未来構想研究所（INAF）

東北アジアは今、米中対立、ウクライナ戦争、北朝鮮の軍事化、経済安保競争など、複数の危機が交錯する新しい地政学的転換点に立っている。本フォーラムでは、北朝鮮情勢と東北アジア秩序の変化を再評価するとともに、経済安全保障、サイバー安保、技術同盟といった新しい協力領域を視野に入れ、日韓が共有できる戦略的課題を探った。



今回は、「知の殿堂」として2022年に移転開館した石川県立図書館で開催。基調講演は朱建榮氏（東洋学園大学）による「中国と南北朝鮮双方との関係の新しい変化」。李鋼哲氏（INAF / '99 狸）と李成訓氏（国家安保戦略研究院）の報告に続き、5名の指定討論者による討論が展開された。

第12回日台アジア未来フォーラム／ 東呉大学東アジア地域発展研究センター USR国際シンポジウム

大学と地域社会の未来をめぐる 日・台・欧の対話

日 時：2025年10月17日（金）
 会 場：台湾 東呉大学 外雙溪キャンパス 第1教学研究棟およびオンライン
 言 語：中国語・日本語・英語
 共 催：渥美国際交流財団関ログローバル研究会（SGRA）、
 東呉大学（校級）東アジア地域発展研究センター
 協 賛：東呉大学外国語文学部、英文学科、日本語文学科、ドイツ文化学科、
 国際学士 課程、心理学科、中東欧教学研究センター

日台未来フォーラムは、台湾在住のSGRAメンバーの発案により2011年に始まり、毎年台湾の大学と協力して開催されてきた。第12回となる今回は、東呉大学東アジア地域発展研究センターとの共催により「大学と地域社会の未来」を主題に掲げ、大学の社会的責任（USR）を多角的に考察。台湾・日本・ヨーロッパを結ぶ知的ネットワークを基盤に、幅広い研究者に新たな視座と刺激をもたらすことを目指した。



麗澤大学大学院の山川和彦教授が「地域社会の持続と観光学 2.0—共創するまちづくりに向け」と題して基調講演を行ったのち、楊名豪氏（国立台湾海洋大学）、オリガ・ホメンコ氏（オックスフォード大学 / '04 狸）により、大学の地域貢献および国際的な社会連携の実践について多面的な報告がなされた。続いて東呉大学王世和副学長を座長にパネルディスカッションを実施。北海道二セコ町教育委員会や地域コミュニティ訪問団をはじめ、東呉大学教職員・学生ら延べ100名を超える聴衆が参加し、活発な質疑応答が交わされた。

第1回日印アジア未来フォーラム

アジアにおける日本研究： 学術的ネットワークの構築へ

日 時：2026年3月13日（金）
会 場：Sir Shankar Lal Concert Hall、デリー大学
言 語：英語
共 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）、
デリー大学東アジア研究科

これまでの東アジア研究は主に東アジア地域内あるいは西洋の理論的枠組みの視点から語られてきたが、本フォーラムでは、インドにおける日本研究の意義に焦点をあて、東アジア研究および東アジアにおけるインド研究の重要性を明らかにしつつ、東アジアおよび南アジア研究に携わる研究者や研究機関の間で、強固な学術ネットワークの構築を促進することを目的とした。



開会式のあと、招待講師として、Nidhi Maini 氏（インド・デリー大学）、南基正氏（韓国・ソウル大学）、陳姿菁氏（台湾・開南大学）が登壇し、自国の日本研究事情について発表した。



続くパネルディスカッションでは、Amlan Dutta 氏（デリー大学）の進行で、招待講演者と学内講師・日本研究の研究者が、討論を行った。



デリー大学東アジア研究科の若手研究者4名による発表と、デリー大学の日本語学生による文化プログラムも行われた。



ランジャナさん（02 狸）が大活躍し、企画からビザ申請などの事務的な作業、当日の運営まで担当。発表者として南基正さん（96 狸）と陳姿菁さん（02 狸）も参加し、日本研究および「日本」を研究することについて、幅広く興味深く考える機会となった。学術的なネットワークの構築だけでなく、脱植民地・アジアの未来、アジアの国々のつながりと思想、「インド」という国・文化についての様々なことについて学ぶことができたのも大きな収穫だった。

東アジア日本研究者協議会 第9回学術大会

全4パネル参加

日 時：2025年10月31日（金）～11月2日（日）
会 場：翰林大学（韓国江原特別自治道春川市）
主 催：翰林大学 グローバル協力大学院
後 援：翰林大学、国際交流基金、東芝国際交流財団、春川市、韓国観光公社

東アジア日本研究者協議会は、東アジアを中心とした国々の研究者に、多様な分野において蓄積されてきた日本研究に関する成果を発表・議論する場を提供し、日本研究と日本研究者の国際的交流の発展に寄与することを目的として発足。年に1回の国際学術大会を開催している。渥美国際交流財団からは4パネルが参加した。

パネル1：宗教と漢字の視点から見る日本文化の深層

パネル2：東アジアからみた日本美術：外来文化の輸入への再検討

パネル3：戦後東アジア分断国家における『祖国観』：沖縄・台湾・韓国の事例を中心に

パネル4：現代児童文学に見る戦争の記憶と継承

パネル1は日本文化の深層を形成する宗教、特に仏教の現状と、日中における漢字観の比較を主要なテーマとした。
パネル2は主に飛鳥時代から平安時代までの日本の美術が外来の影響を受け入れる独自の姿勢に焦点を絞った。
パネル3は冷戦が東アジアにもたらした地政学的な断裂と、そこから派生した多層的なアイデンティティの問題を掘り下げた。
パネル4は未来の子どもたちに過去の戦争体験をどのように伝承していくべきか、児童文学ができることを東アジアおよび国際的視点から再考した。



パネル1メンバー。企画者は尹在彦さん（'20 狸）



パネル2メンバー。企画者は閻志翔さん（'24 狸）



パネル3メンバー。企画者は林泉忠さん（'00 狸）



パネル4メンバー。企画者は張桂娥さん（'03 狸）

第6回国際和解学会（IARS）

分断を超えて：私たちが分ける障壁を克服して

日 時：2025年7月14日（月）～18日（金）
場 所：韓国・ソウル大学 ホムム教授会館
主 催：国際和解学会（IARS）／IARSソウル大会2025事務局

国際和解学会（IARS: International Association for Reconciliation Studies）は国際的な学術ネットワークとして2020年に設立された。世界中の研究者、活動家、政策立案者が集い、平和と和解の促進を目指している。正義・記憶・社会的癒しに関する理解を深めるために、学際的な対話を続け、世界各地での年次会議を開催。第6回大会に渥美財団から2パネルが参加した。

パネル1：『尊厳の遺産』国連墓地：朝鮮戦争の記憶と和解

パネル2：美術と美術史による和解



パネル1の企画者は李貞善さん（'21 狸）。自身が2021年に監修・出演したドキュメンタリー「記憶の地、国連墓地」の上映会とトークイベントを行った。



パネル2の企画者は陳藝婕さん（'21 狸）。国際和解を促進し戦争の傷を癒す上で、美術と美術史が果たした独特の役割を探ることを目的とした。

第8回日韓青少年歴史対話

日時：2025年8月8日（金）
会場：福岡大学図書館多目的ホール
言語：日韓同時通訳付き
共催：日韓青少年大学生歴史対話実行委員会、
渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

歴史教育の力と歴史対話の可能性を通じて解決の糸口を探ることを目的に2018年に始まった日本と韓国の高校生と大学生との交流プロジェクト。今年はSGRAが支援して高麗大学と早稲田高等学院に加えて、金キョンテさん（'10 狸）の全南大学、開催をお引き受けいただいた柳忠熙さん（'14 狸）の福岡大学と東京科学大学の高校生と大学生が40名集まった。



本プロジェクトは鄭淳一さん（'11 狸）が立ち上げ、早稲田大学高等学院の柿沼亮介さんと共同で続けてきた。今回はまず午前中に三谷博先生（東京大学名誉教授）と劉傑先生（早稲田大学）のご自身の歴史対話のお話を伺い、午後はSGRAラーニングの動画「歴史の大衆化」を視聴したあとグループディスカッションを行った。「日韓の若者たちは、歴史の中に共通の課題を意識し、共に考えるようになっている。我々の頃は彼我の歴史認識の差が主題だったのだが、いまの若者は差異よりも共通の課題を意識し、ともに解決しようとしている。変われば変わるもの。心強いことだ」（三谷先生コメント）

第18回ウランバートル国際シンポジウム

21世紀のシルクロード研究：モンゴルからのアプローチ

日時：2025年9月1日（月）
場所：モンゴル国立大学図書館502会議室およびオンライン
共催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）、
昭和女子大学国際学部国際学科、モンゴル国立大学科学カレッジ歴史学科
後援：在モンゴル日本大使館、モンゴルの歴史と文化研究会
助成：日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金、
公益財団法人守屋留学生交流協会

今回は、近年の考古学や歴史学、文献学等諸分野における新発見、研究の歩みをふりかえり、匈奴やモンゴルをはじめ、北方歴代の遊牧民族の諸帝国が築いたモンゴル高原におけるシルクロードの遺跡、交易等を考察。歴史的・社会的・文化的空間の解明と再構築を目指した。



日本、モンゴル、中国の研究者22名（共同発表も含む）により12本の報告が行われ、対面とオンラインの併用で100名ほどの研究者と学生等が参加した。

2025年度出版一覧



SGRA レポート 109
(日本語版)

第74回
SGRA フォーラム講演録
第9回日本・中国・韓国にお
ける国史たちの対話の可能性：
東アジアの「国史」と東南ア
ジア

楊 奎松、
タンシンマンコン・バッタジット、
吉田ますみ、尹 大栄、高 艶傑

2025年6月20日発行



SGRA レポート 109
(中国語版)

第74届 SGRA 论坛
第九届 日本・中国・韩
国国史对话的可能性
东亚的“国史”与东南亚

杨 奎松、陈 玉珍、吉田纯巳、
尹 大荣、高 艳杰

発行日2025年7月30日



SGRA レポート 109
(韓国語版)

제 74 회 SGRA 포럼
제 9 회 한국·일본·중국
간 국사들의 대화 가능성
'동아시아의 '국사' 와 동
남아시아'

양 쿠이송, 탕신만콩 파타짓,
요시다 마사미, 윤 대영, 가오
연제

발행일 2025년 8월 20 일



SGRA レポート 110
(日本語版)

第20回・22回 SGRA カフェ・
第73回 SGRA フォーラム講
演録
パレスチナを知ろう

ハディ ハーニ、ウィアム・ヌマン、
溝川貴己、山本 薫

2025年6月20日発行



SGRA レポート 110
(英語版)

The 20th SGRA Café/The 73rd
SGRA Forum/The 22nd SGRA
Café— A Three-Part Series

Knowing Palestine

Hani Abdelhadi, Weam Numan,
Takami Mizokawa,
Kaoru Yamamoto

2025年8月27日発行



SGRA レポート 111

第11回日台アジア未来フォー
ラム／東アジア日本研究者協
議会第8回国際学術大会内講
演録
疫病と東アジアの
医学知識
——知之連鎖と比較

李 尚仁、朴 漢珉、松村紀明、
町 泉寿郎

2025年6月20日発行



SGRA レポート 112
(日中合冊)

第18回 SGRA チャイナ・
フォーラム講演録
アジア近代美術に
おける〈西洋〉の受容

後小路雅弘

2025年11月16日発行



SGRA レポート 113
(日英合冊)

第75回 SGRA フォーラム／
第45回持続的な共有型成長
セミナー講演録
東アジア地域市民の対話：
国境を超える地方自治体・
地域コミュニティ連携構想
(LLABS) の可能性を探る

フェルディナンド C. マキト、
佐藤考一、李 鋼哲、南 基正、
林 泉忠

2025年11月19日発行



SGRA レポート 114

第 76 回 SGRA フォーラム講演録

中近東・東南アジアからみる日本と暮らす日本：それぞれの視点で考える

レベント・トクソズ、チェリッキ・メレキ、アヤット・ホセイニ、アキバリ・フーリエ、ミヤ・ドウイ・ロスティカ

2025年11月21日発行

2025年度 SGRA ラーニング配信一覧

2025年度から SGRA ラーニングの配信がスタートしました！



SGRA ラーニング マスコットキャラクター



2025年4月22日配信 / SGRA レポート 101 「第7回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」の一部をまとめて解説。日中韓3言語。



2025年5月13日配信 / SGRA レポート 90 「第4回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」より、三谷博氏の講演を解説。日中韓3言語。



2025年5月25日配信 / SGRA レポート 106 「第8回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」より、塩出浩之氏の発表を紹介。日中韓3言語。



2025年8月2日配信 / SGRA レポート 72 「近代日本美術史と近代中国」に基づいて制作。「東アジア美術史は可能か」という問いについて考える。日中韓3言語。



2025年11月19日配信 / SGRA レポート 100 「進撃のKカルチャー—新韓流現象とその影響力」より、BTSの事例から、「韓流」の成功要因を学ぶ。日韓2言語。



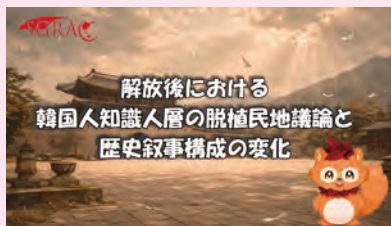
2026年1月7日配信 / SGRA レポート 106 「第8回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」より、安岡健一氏の発表をまとめたもの。日中韓3言語。



中国語版
近日公開予定

韓国語版
近日公開予定

2026年3月18日配信 / SGRA レポート 106 「第8回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」より、福岡良明氏の発表を中心にまとめたもの。日中韓3言語。



中国語版
近日公開予定

韓国語版
近日公開予定

2026年3月25日配信 / SGRA レポート 106 「第8回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」より、金泰雄教授の発表をまとめたもの。日中韓3言語。

SGRA ラーニングは、SGRA レポートの内容をわかりやすく説明する 10～20 分の動画です。

高校生や大学生低学年を対象に授業の副教材として使っていただくことを想定していますが、SGRA のホームページからどなたでも無料でご視聴いただけます。

2025年度 業務日誌

| | | | |
|------------------------|--|-----------|---|
| 4月4日 | 4月例会：最初の集い（於：KX-Lab） | 10月10日 | 2026年度奨学生第一次選考（書類審査） |
| 12日 | 第75回 SGRA フォーラム・第45回持続的な共有型成長セミナー「東アジア地域市民の対話」（於：桜美林大学 新宿キャンパス&オンライン） | 16日 | ラクーン会 in 台北（於：曉鹿鳴樓） |
| 21日～25日 | 5月例会：個人面談 | 17日 | 第12回日台アジア未来フォーラム・東呉大学東アジア地域発展研究センター USR 国際シンポジウム「大学の社会的責任（USR）の現状と展望—マクロからミクロへ」（於：東呉大学&オンライン） |
| 5月1日 | 第8回アジア未来会議 HP 公開 論文募集開始 | 27日 | ラクーン会 in ジョグジャカルタ（於：Tentrem ホテル食堂） |
| 2日 | 第76回 SGRA フォーラム「中近東・東南アジアからみる日本と暮らす日本」（於：チャナッカレ・オンセキ・マルト大学&オンライン） | 28日 | ガジャマダ大学政治社会学部と研究協力覚書締結（第9回アジア未来会議開催に向けて） |
| 10日 | 第50回理事会（2024年度事業及び決算報告 その他）（於：アルカティア市ヶ谷） | 31日 | 第8回アジア未来会議：発表要旨の審査結果発表 |
| 13日 | SGRA ラーニング「『アジアの発明』—19世紀におけるリージョンの生成」（日中韓）公開 | 31日～11月2日 | 第9回東アジア日本研究者協議会大会（於：翰林大学） |
| 25日 | SGRA ラーニング「『歴史大衆化』と東アジアの歴史学」（日中韓）公開 | 5日～11日 | 2026年度奨学生第二次選考（予備面接）（於：鹿島KIビル） |
| 27日 | 2024年度年報発行 | 16日 | SGRA レポート第112号：第18回 SGRA チャイナ・フォーラム「アジア近代美術における〈西洋〉の受容」（日中合冊）発行 |
| 6月5日 | 第19回評議員会（2024年度事業及び決算報告 その他）・第51回理事会（代表理事の互選）（於：鹿島KIビル） | 19日 | SGRA レポート第113号：第75回 SGRA フォーラム／第45回持続的な共有型成長セミナー「東アジア地域市民の対話 国境を超える地方自治体・地域コミュニティ連携構想（LLABS）の可能性を探る」（日英合冊）発行 SGRA ラーニング「進撃のKカルチャー：新韓流現象とその影響力」（日韓）公開 |
| 6月例会：役員との懇親会（於：鹿島KIビル） | | 21日 | SGRA レポート第114号：第76回 SGRA フォーラム「中近東・東南アジアからみる日本と暮らす日本：それぞれの視点で考える」発行 ラクーン会 in 北京（於：金熙別荘） 第48回持続的な共有型成長セミナー「TRANSITION TOWNS AT THE FRINGES」（於：フィリピン大学 オープン大学&オンライン） |
| 20日 | SGRA レポート第109号：第74回 SGRA フォーラム講演録／第9回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性 「東アジアの『国史』と東南アジア」（日中韓別冊）発行 SGRA レポート第110号：第20回 SGRA カフェ／第73回 SGRA フォーラム／第22回 SGRA カフェ連続3回シリーズ 「パレスチナを知ろう」（日英別冊）発行 SGRA レポート第111号：第11回日台アジア未来フォーラム「疫病と東アジアの医学知識—知の連鎖と比較」発行 | 22日 | 第19回 SGRA チャイナフォーラム「『琳派』の創造」（於：北京大学外国語学院&オンライン） |
| 7月1日 | 2026年度奨学生募集開始（要項をホームページで公開、関東地方・近畿地方の大学に通知） | 26日 | 11月例会：鹿島建設の工事現場見学会（みなとみらい21線車両留置場建設工事）と食事会（於：Zeytin） |
| 4日～6日 | 7月例会：宿泊研修「創発×情報」（於：シャトレゼホテルにらさぎの森） | 12月6日 | 2026年度奨学生最終選考会（於：鹿島KIビル） |
| 14日～18日 | 第6回国際和解学会ソウル大会2025（於：ソウル大学日本研究所） | 13日 | 第52回理事会（2026年度奨学生決定、2025年度事業及び収支中間報告 その他）（於：アルカティア市ヶ谷） 12月例会：忘年会（於：AJANTA 麹町） |
| 16日 | ラクーン会 in ソウル（於：ナムジプ＝柿木の家） | 1月7日 | SGRA ラーニング「『わたし』の歴史、『わたしたち』の歴史」（日中韓）公開 |
| 19日 | 8月例会：渥美理事長講演会「鹿島建設の歴史と技術」と懇親会 BBQ（於：今西邸） | 12日 | 渥美伊都子顧問ご逝去 |
| 26日 | 第77回 SGRA フォーラム「なぜ、戦後80周年を記念するのか？」（於：早稲田大学大隈記念講堂小講堂&オンライン） | 20日 | 第8回アジア未来会議：AFC 奨学金審査結果発表 |
| 31日 | 第46回持続的な共有型成長セミナー「WHAT THE WORLD NEEDS NOW IS LLABS」（於：フィリピン大学オープン大学&オンライン） | 24日 | 1月例会：伊都子顧問を偲ぶ会と新年会（於：ホテル椿山荘東京） |
| 8月2日 | SGRA ラーニング「東アジア美術史は可能か」（日中韓）公開 | 2月1日 | 第8回アジア未来会議：参加者登録開始 |
| 8日 | 第8回日韓青少年大学生歴史対話（於：福岡大学図書館多目的ホール&オンライン） | 2日～6日 | 2月例会：個人面談 |
| 9月1日 | 2026年度奨学生応募受付開始 第18回ウランバートル国際シンポジウム「21世紀のシルクロード研究—モンゴルからのアプローチ」（於：モンゴル国立大学&オンライン） | 20日 | 第23回日韓アジア未来フォーラム「朝鮮半島から読み解く新しい東北アジアの地政学」（於：石川県立図書館&オンライン） 第49回持続的な共有型成長セミナー「THE MANY FACES OF ALITAPTAP: A KAIZEN APPROACH TO COMMUNITY CURRENCY」（於：フィリピン大学オープン大学&オンライン） |
| 1日～5日 | 9月例会：個人面談 | 3月7日 | 第53回理事会（2026年度事業計画及び収支予算 その他）（於：KX-Lab） 3月例会：2025年度奨学生春季研究報告会（於：KX-Lab & オンライン） |
| 13日 | 第78回 SGRA フォーラム・第5回アジア文化対話（Asian Cultural Dialogues）・第611回沖縄大学土曜教養講座 「アジアにおけるジェンダーと暴力の関係性」（於：沖縄大学3号館&オンライン） | 13日 | 第1回日印アジア未来フォーラム「アジアにおける日本研究：学術的ネットワークの構築へ」（於：デリー大学&オンライン） |
| 14日～16日 | 第78回 SGRA フォーラム・第5回アジア文化対話 宮古島スタディツアー | 18日 | SGRA ラーニング「戦後日本のメディア文化と『戦争の語り』の変容」（日）公開 |
| 18日 | 第47回持続的な共有型成長セミナー「SUSTAINABLE FOOD FOREST」（於：フィリピン大学オープン大学&オンライン） | 21日 | 最後の食事会（於：アラビアンレストラン ゼノビア 広尾） |
| 20日 | 2026年度奨学生応募締め切り（応募者総数130名） 第8回アジア未来会議：奨学金審査対象論文の発表要旨締め切り（応募総数395本） | 25日 | SGRA ラーニング「解放後における韓国人知識人層の脱植民地議論と歴史叙事構成の変化」（日）公開 |
| 27日 | 10月例会：2024年度奨学生秋季研究報告会（於：KX-Lab）& オンライン） | | |

財務諸表

貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|---------------|------------------|
| I 資産の部 | |
| 1 流動資産 | 4,030,135 |
| 2 固定資産 | |
| (1) 基本財産 | 13,527,467,027 |
| (2) 特定資産 | 603,060,229 |
| (3) その他の固定資産 | 323,822 |
| 固定合計 | 14,130,851,078 |
| 資産合計 | 14,134,881,213 |
| II 負債の部 | |
| 1 流動負債 | 898,727 |
| 2 固定負債 | 9,967,500 |
| 負債合計 | 10,866,227 |
| III 正味財産の部 | |
| 1 指定正味財産 | 14,120,559,756 |
| (うち基本財産への充当額) | (13,527,467,027) |
| (うち特定資産への充当額) | (593,092,729) |
| 2 一般正味財産 | 3,455,230 |
| 正味財産合計 | 14,124,014,986 |
| 負債及び正味財産合計 | 14,134,881,213 |

正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|-----------------|----------------|
| I 一般正味財産増減の部 | |
| 1. 経常増減の部 | |
| (1) 経常収益 | |
| 基本財産運用益 | 133,247,263 |
| 特定資産運用益 | 1,124,360 |
| 事業収益 | 0 |
| 受取補助金 | 3,000,000 |
| 受取寄附金 | 27,222,424 |
| 雑収益 | 156,582 |
| 経常収益計 | 164,750,629 |
| (2) 経常費用 | |
| 事業費 | 152,826,879 |
| 管理費 | 11,923,750 |
| 経常費用計 | 164,750,629 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 0 |
| 評価損益等計 | 0 |
| 当期経常増減額 | 0 |
| 2. 経常外増減の部 | |
| (1) 経常外収益 | |
| 経常外収益計 | 0 |
| (2) 経常外費用 | |
| 経常外費用計 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 0 |
| 一般正味財産期首残高 | 3,455,230 |
| 一般正味財産期末残高 | 3,455,230 |
| II 指定正味財産増減の部 | |
| 受取寄附金 | 4,000,000 |
| 基本財産運用益 | 232,400,000 |
| 基本財産評価損益等 | 5,718,000,000 |
| 特定資産評価損益等 | 183,481 |
| 一般正味財産への振替額 | ▲ 144,139,454 |
| 当期指定正味財産増減額 | 5,810,444,027 |
| 指定正味財産期首残高 | 8,310,115,729 |
| 指定正味財産期末残高 | 14,120,559,756 |
| III 正味財産期末残高 | 14,124,014,986 |

評議員

| | |
|-------|--------------------------------|
| 永山 治 | [評議員会会長] 中外製薬株式会社名誉会長 |
| 秋山 豪 | 鹿島建設株式会社社友 |
| 渥美 雅也 | 一般財団法人東京水産振興会会長 |
| 蟻川 芳子 | 学校法人日本女子大学顧問、元学長・理事長 |
| 井上 博允 | 東京大学名誉教授 |
| 加藤 秀樹 | 一般社団法人構想日本代表 |
| 鹿取 克章 | 公益財団法人日韓文化協力基金理事長、元駐インドネシア日本大使 |
| 久保 哲也 | GCM インベストメンツ株式会社取締役会長 |
| 佐藤 直子 | 東京国際大学教授 |
| 嶋津 忠廣 | 元渥美国際交流財団事務局長 |
| 高橋 甫 | 公益財団法人日本テニス協会元常務理事 |
| 遠山 友寛 | 弁護士 TMI 総合法律事務所パートナー |
| 船橋 洋一 | 公益財団法人国際文化会館 グローバル・カウンシル チェアマン |
| 宮崎 裕子 | 弁護士 長島・大野・常松法律事務所顧問 |
| 堀田 健介 | 株式会社堀田総合事務所代表取締役会長 |
| 山本 尚子 | 公益財団法人伊藤謝恩育英財団理事長 |

理事

| | |
|-----------------------|--------------------------|
| 渥美 直紀 | [理事長] 鹿島建設株式会社相談役 |
| 今西 淳子 | [常務理事] |
| 上野 宏 | 元国土交通省政策統括官 |
| 片岡 達治 | 元癌研究会主任研究員 |
| 金 雄熙 | 韓国・仁荷大学副学長／経営学部国際通商学科教授 |
| 施 建明 | 東京理科大学経営学部ビジネスエコノミクス学科教授 |
| 角田 英一 | 前渥美国際交流財団事務局長 |
| 平川 均 | 名古屋大学名誉教授、国士館大学客員教授 |
| ヨサファット テトオコ スリ スマンティヨ | 千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授 |
| 李 周浩 | 立命館大学情報理工学部情報理工学科教授 |
| 劉 傑 | 早稲田大学社会科学総合学院教授 |

監事

| | |
|-------|----------------|
| 竹田 優 | 鹿島建設株式会社社友 |
| 藤井 純一 | 公益財団法人かめのり財団理事 |

顧問

| | |
|------|--------------------------|
| 明石 康 | 公益財団法人日本国際連合協会会長、元国連事務次長 |
|------|--------------------------|

選考委員 (最終選考)

| | |
|-------|--|
| 田村 次朗 | [選考委員長] 慶應義塾大学名誉教授、大学院大学至善館教授 |
| 奥田 暁代 | 慶應義塾大学法学部教授 |
| 金子 成彦 | 東京大学名誉教授 |
| 佐藤 道信 | 東京藝術大学名誉教授 |
| 細田 衛士 | 慶應義塾大学名誉教授、東海大学学長補佐／政治経済学部教授、中部大学理事／名誉教授 |
| 山科 章 | 東京医科大学名誉教授、一般財団法人ライフ・プランニング・センター理事長 |

奨学生名簿

【1995年度 渥美奨学生】

BAMBLING Michele バンプリング ミッシェル [アメリカ] コロンビア大学/慶應義塾大学 [博士] (美術史): Japan Society Art Gallery Senior Director (在ニューヨーク)

GAO Lingna 高玲娜 [中国] 一橋大学 [博士] (社会学): (在横須賀)

GAO Weijun 高偉俊 [中国] 早稲田大学 [博士] (建設工学): 北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼職教授 (在北九州)

JIN Xi 金熙 [中国] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (物理情報学): Sheerwood 科技発展有限公司社長 (在北京)

KWACK Jae-woo 郭在祐 [韓国] 学習院大学 [博士] (美術史): 日本大学文理学部、学習院大学文学部非常勤講師

MAQUITO Ferdinand マキト フェルディナンド [フィリピン] 東京大学 [博士] (経済学): フィリピン大学オープンユニバーシティ非常勤講師 (在フィリピン・ロスバニョス)

PARK Chul-ju 朴哲主 [韓国] 慶應義塾大学 [博士] (商学): 三育大学経営学部 (在ソウル)

PARK Jung-ran 朴貞蘭 [韓国] 日本女子大学 [博士] (社会福祉学): 仁済大学社会福祉科教授 (在釜山)

SHI Jianming 施建明 [中国] 筑波大学 [博士] (数理工学/社会工学): 東京理科大学嘱託教授 (非常勤)

YAO Hui 葉会 [中国] 早稲田大学 (日本文学): 法政大学国際文化情報学部非常勤講師

YOUN Seok-hee 尹錫姫 [韓国] 専修大学 [博士] (商学): 仁徳大学観光学部非常勤講師 (在ソウル)

○1995年度 阪神大震災被災特別奨学生

CHEN Xiao 陳曉 [中国] 神戸大学 (医学)

HORNG Der-juinn 洪德俊 [台湾] 神戸大学 [博士] (経営学): 国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾・桃園)

WANG Libin 王立彬 [中国] 神戸大学 (自然科学): artience 株式会社

【1996年度 渥美奨学生】

CHANTACHOTE Viravat チャンタチャオテ ビラバット [タイ] 慶應義塾大学 [博士] (法学): タマサート大学法学部准教授 (在バンコク)

GULENCH Selim Yucel グランチ セリム [トルコ] 東京大学 (政治学): コンヤ市市国際関係・観光部 (在トルコ・コンヤ市)

KHIN Maung Htwe キン マウン トウエ [ミャンマー] 早稲田大学 [博士] (応用物理): Hotel AKIMOMI 社長 (在マンダレー)

KIM Woong-hee 金雄熙 [韓国] 筑波大学 [博士] (国際政治経済学): 仁荷大学経営学部国際通商学科教授 (在仁川)

LEE Nae-Chan-huey 李來贊 [韓国] 慶應義塾大学 [博士] (管理工学): 漢城大学経済学部教授 (在ソウル)

NAM Ki-jeong 南基正 [韓国] 東京大学 [博士] (国際関係論): ソウル大学日本研究所教授 (在ソウル)

PARK Keun-hong 朴根弘 [韓国] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (生命理工学)

QIAO Xin 喬辛 [中国] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (無機材料工学)

TREDE Melanie Maria トレーデ メラニー [ドイツ] ハイデルベルグ大学/学習院大学 [博士] (日本美術史): ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授 (在ハイデルベルグ)

ZHAO Qing 趙青 [中国] お茶の水女子大学 (比較文化)

ZHU Tingyao 朱庭耀 [中国] 東京大学 [博士] (船舶海洋工学): 日本海事協会技術研究所首席研究員/ハルビン工科大学客員教授

【1997年度 渥美奨学生】

DE MAIO Silvana デマイオ シルバーナ [イタリア] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (日本語教育): イタリア文化会館館長

FANG Mei-li 方美麗 [台湾] お茶の水女子大学 [博士] (言語学): (在ロンドン)

ISANANTO Winurshito イサナント ウィヌルシト [インドネシア] 慶應義塾大学 [博士] (応用化学): インドネシア工業省マナド工業規格と研究研究所: (在インドネシア)

KIM Woe-sook 金外淑 [韓国] 早稲田大学 [博士] (健康科学): 兵庫県立大学名誉教授 (在ソウル)

KATAGIRI Laohaburanakit Kanokwan (Noi) 片桐 ラオハブрана キット カノックワン (ノイ) [タイ] 筑波大学 [博士] (言語学、日本語教育): チュラロンコーン大学文学部日本語講座教授 (在バンコク)

LEE Hyang-chul 李香哲 [韓国] 一橋大学 [博士] (経済学): 学校法人光云学園教育理事 (在ソウル)

LI Enmin 李恩民 [中国] 一橋大学 [博士] (社会学): 桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授

NIZAMIDIN Jappar ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 東京大学 [博士] (応用化学): 米国アップル社 (在カルフォルニア)

WANG Yuepeng 王岳鵬 [中国] 東京大学 [博士] (医学): 上海交通大学医学院附属新華病院科研中心 (在上海)

WILLIAMS Duncan ウィリアムズ ダンカン [イギリス] ハーバード大学/上智大学 [博士] (宗教学): 南カルフォルニア大学宗教学部教授 (在ロサンゼルス)

ZHANG Shaomin 張紹敏 [中国] 東京大学 [博士] (医学): (株) 遼盤会館代表 (在岡山)

【1998年度 渥美奨学生】

ADIOLE Emmanuel アディオレ エマニュエル [ナイジェリア] 東京大学 [博士] (政治学): ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

CAO Bo 曹波 [中国] 早稲田大学 [博士] (建設工学): 株式会社北京NTT データジャパン

HE Zuyuan 何祖源 [中国] 東京大学 [博士] (先端学際工学/光電子工学): 上海交通大学光ファイバ技術国家重点実験室教授 (在上海)

HU Jie 胡潔 [中国] お茶の水女子大学 [博士] (文学)

KIM Jae-sung 金宰晟 [韓国] 東京大学 (仏教学): 能仁大寺院大學校 Director of Buddhist Research Institute (在ソウル)

LA In-sook 羅仁淑 [韓国] 早稲田大学修了、流通経済大学 [博士] (経済学): 国士館大学政経学部非常勤講師、NPO 暖流代表

LEE Joo-ho 李周浩 [韓国] 東京大学 [博士] (電子工学): 立命館大学情報理工学部情報理工学科教授 (在大阪)

MAI lisha マイリーサ [中国] 一橋大学 [博士] (社会学): 昭和女子大学国際学部国際学科教授

SUN Yanping 孫艶萍 [中国] 東京大学 [博士] (医学): コロンビア大学医学部准教授 (在ニューヨーク)

WU Hongmin 呉弘敏 [中国] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (精密工学): フクダ電子 (株)

XU Xiaoyuan 許曉原 [中国] 東京大学 [博士] (農業生命科学): コロンビア大学ナオミベリヤーセンター研究員 (在ニューヨーク)

【1999年度 渥美奨学生】

COIMBRA Maria RaquelMoura コインブラ マリア ハケウ モウラ [ブラジル] 東京水産大学 [博士] (資源育成学): ベルナンブコ州立大学農水学部 (在ブラジル・ベルナンブコ)

HONG Kyung-jin 洪京珍 [韓国] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (化学環境工学): 韓国環境省 (在ソウル)

HOU Yankun 侯延昆 [中国] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (物理電子化学/薬学): UBS Investment Research (在香港)

JU Yan 具延 [中国] 筑波大学 [博士] (農学): メッツオーバーージャパン (株)

LI Kotetsu 温井 (李) 綱哲 [中国] 立教大学 (経営学/経済学): 一般社団法人・東北亞未来構想研究所所長 (在金沢)

MUSIKASINTHORN Prachya ムシカシントーン プラチャー [タイ] 東京水産大学 [博士] (資源育成学): カセサート大学水産学部所助教授 (在バンコク)

Vu THI Minh Chi ブティミンチー [ベトナム] 一橋大学 [博士] (地域研究): ベトナム社会科学院人間科学研究所研究員 (在ハノイ)

WANG Dan 王旦 [中国] 東京藝術大学 [博士] (音楽): バイオリンリスト/昭光物産 (株)

YANG Jie-chi 楊接期 [台湾] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (教育工学): 国立中央大学網路学習科技研究所教授 (在台湾・桃園)

YEH Wen-chang 葉文昌 [台湾] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (電子物理工学):鳥根大学総合理工学研究科教授 (在松江、カリフォルニア大学サンディエゴ校 Reseach scholar

ZHOU Haiyan 周海燕 [中国] 東京医科歯科大学 (現:東京科学大学) [博士] (医学):たてやまクリニック院長 (在富山)

[2000年度 渥美奨学生]

JIN Zhengwu 金政武 [中国] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (物質科学):華為技術日本株式会社 船橋ラボ CTO

JUNG Jae-ho 鄭在皓 [韓国] 慶應義塾大学 [博士] (物質科学):三星電子 LCD 総括 LCD 開発室 (在天安)

JUNG Sung-chun 鄭成春 [韓国] 一橋大学 [博士] (経済学):対外経済政策研究院 (KIEP) (在世宗市)

KO Hee-tak 高熙卓 [韓国] 東京大学 [博士] (総合文化):(株)グローバル・ニュース (Global News) 代表理事 (在済州)

LIM Chuan-Tiong 林泉忠 [香港] 東京大学 [博士] (国際政治学):東京大学東洋文化研究所特任研究員

MOLNAR Margit モルナル マルギット [ハンガリー] 慶應義塾大学 [博士] (経済学):OECD 研究員 (在パリ)

NAIWALA Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラ パティランネヘラーゲ チャンドラシリ [スリランカ] 東京大学 [博士] (電子情報):工学院大学情報学部情報デザイン学科教授

REN Yong 任永 [中国] 群馬大学 [博士] (医学):ニューヨーク州立大学医学部研究員 (在米バッファロー)

SUZUKI SATO Hiromi スズキ サトウ ヒロミ [メキシコ] 慶應義塾大学 (経済学):(在東京)

WU Yuping 武玉萍 [中国] 千葉大学 [博士] (医学):理化学研究所発生・再生科学総合研究センター (ODB) (在神戸)

XU Xiangdong 徐向東 [中国] 立教大学 [博士] (社会学):(株)中国市場戦略研究所代表取締役

ZENG Zhinong 曾支農 [中国] 東京大学 [博士] (アジア文化):湖北省留學人員聯誼會會長 (在武漢)

[2001年度 渥美奨学生]

BORJIGIN Burensain ボルジギン プレンサイン [中国] 早稲田大学 [博士] (東洋史):滋賀県立大学人間文化学部教授 (在彦根市)

FAN Jianting 範建亭 [中国] 一橋大学 [博士] (経済学):上海財経大学商学院教授 (在上海)

JEON Jin-hwan 全振煥 [韓国] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (建築材料):鹿島建設 (株) 技術研究所上席研究員

JIANG Huiling 蔣惠玲 [中国] 横浜国立大学 [博士] (電子情報工学):(株)NTT ドコモ研究開発センター 主査

JIN Xianghai 金香海 [中国] 中央大学 [博士] (政治学):逝去

KOSTOV Vlaho コストブ ブラホ [マケドニア/イタリア] 東京都立科学技術大学 [博士] (システム工学):パナソニック・ヨーロッパ社 (在フランクフルト)

LEE Hyun-young 李炫瑛 [韓国] お茶の水女子大学 [博士] (比較文化):建国大学校師範大学日本語教育科助教授 (在ソウル)

LEE Young-suk 李英淑 [韓国] 筑波大学 [博士] (教育学):(在釜山)

LIANG Xingguo 梁興国 [中国] 東京大学 [博士] (化学生命工学):中国海洋大学食品科学と工程学院教授 (在青島)

LWIN U Htay ルイン ユティ [ミャンマー] 東京医科歯科大学 (現:東京科学大学) [博士] (社会医学及び公衆衛生学):ロイヤル・ルイン・メディカルセンター所長 (在ヤンゴン)

QI Jinfeng 奇錦峰 [中国] 東京医科歯科大学 (現:東京科学大学) [博士] (薬理学):広州中薬大学 (退休) (在広州市)

SRI SUMANTYO Josaphat Tetuko ヨサファット テトコ スリスマンティヨ [インドネシア] 千葉大学 [博士] (人工システム科学):千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授

[2002年度 渥美奨学生]

BAEK In-soo 白寅秀 [韓国] 早稲田大学 [博士] (商学)

CHEN Tzu-ching 陳姿菁 [台湾] お茶の水女子大学 [博士] (国際日本学):開南大学人文社会学部応用言語修士課程教授 (在台北)

JO Gyu-hwan 曹奎煥 [韓国] 早稲田大学 [博士] (地質学):JX 石油開発株式会社

HU Bingqun 胡炳群 [中国] 日本工業大学 [博士] (システム工学):日豊興業株式会社 (在名古屋/広州)

IKO Pramudiono イコ プラムディオノ [インドネシア] 東京大学 [博士] (電子情報工学):三井物産 (株) 事業統括部 (在シンガポール)

MANDAH Ariunsaihan マンダフ アリウンサイハン [モンゴル] 一橋大学 [博士] (地域社会学):(在米カンザス)

Mukhopadhyaya Ranjana ムコパディヤーヤ ランジャナ [インド] 東京大学 [博士] (宗教学宗教史):デリー大学東アジア研究科教授 (在デリー)

PARK Young-june 朴榮濬 [韓国] 東京大学 [博士] (国際社会科学):国防大学校安全保障大学院教授 (在ソウル)

SUN Jianjun 孫建軍 [中国] 国際基督教大学 [博士] (日本語学):北京大学外国語学院准教授 (在北京)

WANG Xi 王溪 [中国] 東京大学 [博士] (電子情報工学):Fujitsu Network Communications, Research Scientist (在米テキサス)

YIMIT Abliz イミテ アブリズ [中国] 横浜国立大学 [博士] (人工環境システム):新疆大学退職スタッフサービスセンター (在ウルムチ)

YU Xiaofei 于曉飛 [中国] 千葉大学 [博士] (社会文化科学):神奈川県立大学経営学研究科博士前期課程国際経営専攻非常勤講師

[2003年度 渥美奨学生]

CHAE Sang-heon 蔡相憲 [韓国] 東京農工大学 [博士] (生物生産学):天安蓮庵大学新環境園芸科教授 (在韓国・天安)

CHANG Kuei-e 張桂娥 [台湾] 東京学芸大学 [博士] (学校教育学(言語文化)):東吳大学日本語文学系副教授 (在台北)

Husel フスレ [中国] 東京外国語大学 [博士] (地域文化):昭和女子大学国際学部国際学科教授、昭和女子大学大学院生活機構研究科教授

KIM Hyeon-wook 金賢旭 [韓国] 東京大学 [博士] (総合文化(表象文化)):国民大学日本学科教授 (在ソウル)

KWAK Ji-woong 郭智雄 [韓国] 立教大学 [博士] (経営学):九州産業大学商学部商学科准教授 (在福岡)

LIN Shaoyang 林少陽 [中国] 東京大学 [博士] (総合文化(超域文化)):澳門大学 (マカオ大学) 人文學院歴史学科人文社会科学高等研究院特聘教授

LU Yuefeng 陸躍鋒 [中国] 東京海洋大学 (海洋情報システム):Merit Education Inc., President; Merit College, Principal

PIAO Zhenji 朴貞姬 [中国] 明海大学 [博士] (応用言語学):北京語言大学外国語学部東方言語文化学院教授 (在北京)

TISI Maria Elena ティシマリア エレナ [イタリア] 白百合女子大学 [博士] (児童文学):ポローニャ大学助教 (在ポローニャ)

YAMAGUCHI Ana Elisa ヤマグチ アナエリーザ [ブラジル] 一橋大学 [博士] (社会学):(在ロンドン)

YUN Hui-suk ユン ヒスク [韓国] 東京大学 [博士] (材料学):韓国機械研究院付属材料研究所 (KIMS) (在韓慶南道昌原)

ZANG LI 臧俐 [中国] 東京学芸大学 [博士] (学校教育学(教育方法論)):東海大学准教授

[2004年度 渥美奨学生]

AMPONG Beryl Nyamekye アンボンベリル ニャメチェ [ガーナ] 東京医科大学 [博士] (薬理学):(在ワシントンD.C.)

CHIN Angelina Yan Yan チン アンジェリーナ [アメリカ] カリフォルニア大学サンタクルーズ校/お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー研究):Pomona College 准教授 (在カリフォルニア)

KHOMENKO Olga ホメンコ オリガ [ウクライナ] 東京大学 [博士] (地域文化研究):Visiting Fellow of Oxford School of Global Area Studies / Russian and East European Centre, St. Antony's College, University of Oxford Associate Researcher of Japan Centre, SOAS, University of London (在イングランド)

LEE Jea-woo 李済宇 [韓国] 早稲田大学 [博士] (地盤地震工学):Executive Director - Engineering GS Engineering & Construction Australia Pty Ltd (在メルボルン)

LEE Sung-young 李承英 [韓国] 筑波大学 [博士] (言語学):光云大学日本学科 (在ソウル)

MENG Zimin 孟子敏 [中国] 筑波大学 [博士] (言語学):松山大学人文学部教授 (在松山)

MULLAGILDIN Rishat ムラギルディン リシャット [ロシア] 慶應義塾大学 (環境デザイン):逝去

Napoleon ナポレオン [インドネシア] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (機械制御システム): Millennium Capital Management

SONNTAG Mira ゾンターク ミラ [ドイツ] 東京大学 [博士] (宗教学史学): 立教大学文学部キリスト教学科教授

TSAI Ying-hsin 蔡英欣 [台湾] 東京大学 [博士] (法学): 国立台湾大学法学部副教授 (在台北)

YANG Myung-ok 梁明玉 [韓国] お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): 建国大学行政大学院社会福祉学招招聘教授 (在ソウル)

YE Sheng 叶盛 [中国] 東京大学 [博士] (先端学際工学): 東莞九域星医薬科技有限公司 (在香港)

[2005年度 渥美奨学生]

BAO Lianqun 包聯群 [中国] 東京大学 [博士] (言語情報科学): 大分大学経済学部教授 (在大分)

HAN Junqiao 韓 珺巧 [中国] 早稲田大学 [博士] (建築学): (在バークレー)

HAN Kyoung-ja 韓 京子 [韓国] 東京大学 [博士] (日本文化研究): 青山学院大学文学部教授

JIANG Susu 江 蘇蘇 [中国] 横浜国立大学 [博士] (物理情報工学): 東芝インフラシステムズ株式会社鉄道システム事業部

KIM Bum-su 金 範洙 [韓国] 東京学芸大学 [博士] (社会系教育(歴史)): 和洋女子大学国際学部准教授、一般社団法人国際交流振興協会 (JAI) 代表

KIM Yeon-kyeong 金 娟鏡 [韓国] 東京学芸大学 [博士] (心理学): 鹿児島大学教育学部家政専修准教授 (保育・児童学担当)

LAN Hung-yueh 藍 弘岳 [台湾] 東京大学 [博士] (地域文化研究): 中央研究院歴史言語研究所 (在台北)

TENEGRA Brenda Resurecion Tiu テネグラ ブレンダ レスレション ティウ [フィリピン] お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): Accenture Inc. (在フィリピン・セブ島)

VO CHI Cong ヴォー チー コン [ベトナム] 東京工業大学 (現:東京科学大学) (数理・計算科学): FPT Software Japan

WANG Xueping / ARAKAWA Yuki 王 雪萍 / 荒川 雪 [中国] 慶應義塾大学 [博士] (政策メディア): 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授

WONG Kin Foon Kevin 王 健歡 [香港] 総合研究大学院大学 [博士] (統計科学): Citizens Bank, Quantitative Analyst (在ボストン)

ZHAO Changxiang 趙 長祥 [中国] 一橋大学 [博士] (商学): (在上海)

[2006年度 渥美奨学生]

CHU Xuan Giao チュ スワン ザオ [ベトナム] 総合研究大学院大学 [博士] (文化人類学): ベトナム社会科学文化研究所上席研究員 (在ハノイ)

HU Xiuying 胡 秀英 [中国] 千葉大学 [博士] (看護教育学): 四川大学華西病院看護学部 (在成都)

HYUN Seung-soo 玄 承洙 [韓国] 東京大学 [博士] (地域文化): (在ソウル)

LI Chengri 李 成日 [中国] 慶應義塾大学 [博士] (政治学): 中国社会科学院亚太与全球战略研究院研究員 (在北京)

LIANG Yun-hsien 梁 蘊嫻 [台湾] 東京大学 [博士] (比較文化): 元智大学応用外語学助教授 (在台北)

MOHOTTALA Shirmila モホッタラ シャミラ [スリランカ] 東京大学 [博士] (情報理工学): CSoft Solutions (Pvt) Ltd Project Manager

PANTCHEVA Elena Latchezarova パンチュワ エレナ [ブルガリア] 千葉大学 [博士] (日本研究): 在ブルガリア日本国大使館 (在ブルガリア)

SEO Kyoung-sook 徐 景淑 [韓国] 慶應義塾大学 (美学美術史): (在ソウル)

SIM Choon Kiat シム チュンキヤット [シンガポール] 東京大学 [博士] (教育学): 昭和女子大学人間社会学部現代教養学科教授

SUN Junyue 孫 軍悦 [中国] 東京大学 [博士] (言語情報科学): 立命館大学国際関係学部 (在京都)

WEERASINGHE Nalin ウィーラシンハ ナリン [スリランカ] 電気通信大学 [博士] (電子工学): シュルンベルジェ株式会社 (在ヒューストン)

WOO Seong-hoon 禹 成勲 [韓国] 東京大学 [博士] (建築学): (在仁川)

[2007年度 渥美奨学生]

CHAN Chai-fong 詹 彩鳳 [台湾] 東京大学 (地域文化研究): (在台北)

DENG Fei 鄧 飛 [中国] 東京大学 [博士] (先端エネルギー学): 株式会社カーボンフライ 代表

Gangbagana ガンバガナ [中国] 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 内蒙古民族大学 (在フフホト)

KIM Min-suk 金 玟淑 [韓国] 早稲田大学 [博士] (建築学): 京都大学防災研究所民間等共同研究員 / 日本ミクニヤ株式会社 (在京都)

LEE Eung-yong 李 垠庚 [韓国] 東京大学 [博士] (地域文化研究): ソウル大学日本研究所 HK 研究教授 (在ソウル)

MIJITI Abuduxukuer メジテ アブドシュクル [中国] 東京医科大学 [博士] (外科学): 新疆ウイグル自治区カシュガル地区第一人民病院腫瘍センターセンター長 (在カシュガル)

PARK So-hyun 朴 昭炫 [韓国] 東京大学 [博士] (文化資源学): 韓国文化観光研究院文化芸術政策担当責任研究員 (在ソウル)

PORRAS Rojas Oscar ボラス ロハス オスカル [コスタリカ] 東京海洋大学 [博士] (応用環境システム学): コスタリカ大学太平洋岸校副学長 (在コスタリカ・プンタレナス)、東京海洋大学研究員

QUAN Mingai 権 明愛 [中国] 日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学): 十文字学園女子大学人間生活学部准教授

WANG Jianhong 王 劍宏 [中国] 早稲田大学 [博士] (建設工学): 山東大学齊魯交通学院教授 (在済南)

YAN Hainian / OHINATA Mine 顔 海念 / 大日向 美音 [中国] 東京大学 [博士] (国際保健学): 株式会社アールピーエム

YAROSLAV Shulатов ヤロ斯拉ブ シュラトフ [ロシア] 慶應義塾大学 [博士] (政治学): 早稲田大学政治経済学術院教授

[2008年度 渥美奨学生]

FENG Kai 馮 凱 [中国] 東京大学 [博士] (機械工学): 湖南大学機械学院教授 (在長沙)

HONG Yun-shin 洪 ユンシン [韓国] 早稲田大学 [博士] (国際関係学): 沖繩大学国際コミュニケーション学科准教授

SHIOHARA VRONI Friederike 塩原 フローニ フリデリケ [ドイツ/スイス] 東京芸術大学 [博士] (文化財保存学): BMW Group Financial Services Marketing Manager

LIU Jian 劉 健 [中国] 北京大学 / 早稲田大学 [博士] (日本語文化): 首都師範大学専任講師 (在北京)

LKHAMSUREN Lkhagvasuren ハムスレン ハグワスレン [モンゴル] 早稲田大学 (国際関係学)

NEMEKH jargal ネメフ ジャルガル [中国] 亜細亜大学 [博士] (経済学): 内蒙古大学民族学與社会学学院 (在フフホト)

PHUONG Kimchhayarasy プアン キムチャイヤラシー [カンボジア] 宇都宮大学 [博士] (物性工学)

SONG Gang 宋 剛 [中国] 桜美林大学 [博士] (地域文化): 北京外国語大学日本語学院副教授 (在北京)

VÖRNO Heli-Liis ヴェルノ ヘリ リース [エストニア] 学習院大学 (哲学): (在ロンドン)

WANG Wei 王 偉 [中国] 千葉大学 [博士] (人工システム): 千葉大学特任教授 / 福島国際研究教育機構 (F - REI) 主任研究員

XIU Zhen 修 震 [中国] 東京工業大学 (現:東京科学大学) [博士] (機械制御システム): Schneider Electric USA General Manager, Innovation (在マサチューセッツ)

YUK Jae-hwa 陸 載和 [韓国] 武蔵野美術大学 (造形芸術)

ZHANG Jian 張 建 [中国] 東京大学 [博士] (教育学): 東京電機大学理工学部共通教育群教職課程特任教授

[2009年度 渥美奨学生]

CHOI Eun-seok 崔 恩碩 [韓国] 国民大学 / 東京大学 [博士] (日本史学): 駐広島韓国総領事館先任研究員 (在広島)

DARWISHEH Housam ダルウィッシュ ホサム [シリア] 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所

KABA Melek カバメレキ [トルコ] 筑波大学 [博士] (文芸・言語): チャナツカレ・オンセキズ・マルト大学教育学部日本語学科 (在トルコ・チャナツカレ)

KIM Young-soon 金 英順 [韓国] 立教大学 [博士] (日本文学): 立教大学文学部非常勤講師

KWAK Young-joo 郭 榮珠 [韓国] 千葉大学 [博士] (地球生命圏科学): (独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 専門研究員

KWON Nam-hee 権南希 [韓国] 東京大学 [博士] (国際法): 関西大学政策創造学部教授 (在大阪)、The Pew Charitable Trusts、Pew 海洋保全フェロー (2026年~2028年)

RINCHIN リンチン [中国] 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 内モンゴル大学モンゴル学研究中心 (在フフホト)

SCHICKETANZ Erik Christopher シッケタンツ エリック [ドイツ] 東京大学 [博士] (宗教学宗教学): 國學院大学神道文化学部准教授

SHERMATOV Ulugbek シェルマトフ ウルグベック [ウズベキスタン] 明治大学 [博士] (民法学): ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在タシケント)

SON Joun-ga 孫貞阿 [韓国] 東京大学 [博士] (森林科学): 国立山科学院森林病害虫研究科 (在ソウル)

VELDKAMP Elmer フェルトカンプ エルメル [オランダ] 東京大学 [博士] (文化人類学): ライデン大学人文科学科 地域研究所 (LIAS) 韓国学専攻専任講師 (在ライデン)

YE Kyaw Thu イェ チョウ トウ [ミャンマー] 早稲田大学 [博士] (国際情報通信学)

ZHU Lin 朱琳 [中国] 東京大学 [博士] (アジア政治思想史): 東北大学大学院国際文化研究科准教授 (在仙台)

[2010年度 渥美奨学生]

CHAITONGDI Phramahachatpong Katapuñño チャイトンディ プラマハチャッポン [タイ] 東洋大学 [博士] (仏教学): (在シアトル)

CHOI Jung-eun 崔 禎恩 [韓国] 東京藝術大学 [博士] (文化財保存学): 国家記録院大統領記録館保存復元課学芸研究士 (在ソウル)

KIATKOBCHAI Siratsanan キアコブチャイ スィラッサナン [タイ] 学習院大学 [博士] (日本語日本文学): (株) アートボックス (在バンコク)

KIM Kyong-tae 金 キョンテ [韓国] 高麗大学/東京大学 [博士] (歴史学): 全南大学校歴史教育科助教授 (在光州)

LEE Hyun-bon 李 賢凡 [韓国] 東京工業大学 (現: 東京科学大学) [博士] (材料工学): (株) POSCO 研究員 (在全羅南道)

LI Jun 李 軍 [中国] 早稲田大学 [博士] (国語教育学): 宮崎大学教育学部准教授 (在宮崎)

LU Liang 蘆 亮 [中国] 東京工業大学 (現: 東京科学大学) [博士] (原子核工学): 中国科学院近代物理研究所研究員 (在蘭州)

MAGID Evgeni マギッド イヴゲニ [イスラエル/ロシア] 筑波大学 [博士] (知能機能システム): カザン連邦大学教授 (在ロシア・カザン)

MYA DWI Rostika ミヤ ドウイ ロスティカ [インドネシア] 国士舘大学 [博士] (政治学): 大東文化大学国際関係学部講師

VIGOUROUX Mathias Dominique Yves ヴィグル マティアス [フランス] 二松学舎大学 [博士] (中国学): 二松学舎大学文学部都市文化デザイン学科准教授

WANG Xin / SAKURAI Shin 王 昕 / 櫻井 慎 [中国] 東京医科歯科大学 (現: 東京科学大学) [博士] (先端医療開発学): エア・ウォーター株式会社

YOON Jin-hee 尹 ジンヒ [韓国] お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究): 群馬県立女子大学文学部准教授

[2011年度 渥美奨学生]

CHONG Soon-il 鄭 淳一 [韓国] 早稲田大学 [博士] (アジア地域文化学): 高麗大学師範大学歴史教育科教授 (在ソウル)

HO Van Ngoc ホー ヴァン ゴック [ベトナム] 千葉大学 [博士] (建築都市科学): 鹿島建設建築設計本部建築設計統括 Gr

KANG Moon-hee 姜 文熙 [韓国] 日本社会事業大学 (社会福祉学)

KIM Eun-hye 金 銀恵 [韓国] ソウル大学/東京大学 [博士] (都市社会学): 釜山大学社会学科助教授 (在プサン)

KIM Soongbae 金 崇培 [韓国] 延世大学/慶應義塾大学 [博士] (国際政治学): 釜慶大学人文社会科学部日語日文学部助教授 (在ソウル)

LEE Hyo-jeong 李 孝庭 [韓国] 国際基督教大学 [博士] (比較文化): 協成大学助教授 (在ソウル)

LI Yanming 李 彦銘 [中国] 慶應義塾大学 [博士] (政治学): 南山大学総合政策学部教授 (在名古屋)

NAHEYA ナヒヤ [中国] 東京大学 [博士] (地域文化): 内蒙古大学蒙古学系教授 (在フフホト)

PARK Joonui 朴 准儀 [韓国] ボストン大学 [博士] (国際政治経済): プリンストン大学国際地域研究所 Fung Global Fellow (Political Economist) (在プリンストン)

PENG Hao 彭 浩 [中国] 東京大学 [博士] (日本文化研究): 大阪公立大学大学院経済学研究科教授 (在大阪)

PIAO Wenying 朴 文英 [中国] 東京医科歯科大学 (現: 東京科学大学) [博士] (脳神経病態学): 東京医科歯科大学 (現: 東京科学大学) ポスドク研究員

XIE Hui-zhen 謝 惠貞 [台湾] 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 文藻外語大学日本語文学系助教授 (在高雄)

[2012年度 渥美奨学生]

CHEN Jing-Young 陳 景揚 [台湾] 東京大学 (文化人類学): (在台湾)

CHOI Seung-won 崔 勝媛 [韓国] 東京大学 [博士] (生物科学): 日本たばこ産業株式会社研究開発員

DALE Sonja デール ソンヤ [ノルウェー] 上智大学 [博士] (グローバル社会): 渥美国際交流財団

FLICK Ulrich フリック ウルリッヒ [ドイツ] ハイデルベルグ大学/早稲田大学 [博士] (東アジア研究): 東北学院大学教養学部言語文化学科准教授 (在仙台)

HAN Lingji 韓 玲姬 [中国] 筑波大学 [博士] (情報メディア): 東京中央日本語学院養成事業部・教務部専任講師

LI Xue 李 雪 [中国] 筑波大学 [博士] (文芸・言語): 寧波大学外国語学院日本語学科講師 (在寧波)

OH Jung-keun 呉 正根 [韓国] 横浜国立大学 [博士] (環境リスクマネジメント): 国立環境科学院資源循環研究課研究員 (在仁川)

PARK Hyun-jung 朴 炫貞 [韓国] 武蔵野美術大学 [博士] (造形芸術): 千葉大学コネク (在千葉)

RIO Aaron リオ アーロン [アメリカ] コロンビア大学/学習院大学 [博士] (日本美術史): シアトル美術館学芸員 (在シアトル)

SUNG Ki-hyuk 成 善赫 [韓国] 明治大学 (日本文学)

UZUM Abdullah ウズム アブドゥラ [トルコ] 東京農工大学 [博士] (情報工学)

YIN Feilong 尹 飛龍 [中国] 東京農工大学 [博士] (機械システム工学): 質子自動車科技有限公司 国際部副部長 (在西安)

ZHENG Xiu 鄭 秀 [中国] 東京医科歯科大学 (現: 東京科学大学) [博士] (消化器病態学)

[2013年度 渥美奨学生]

ARoz Rafael Aingeru アロツ ラファエル アイングル [スペイン] 東京大学 [博士] (文化・人間情報学): 上智大学外国語学部イスパニア語学科准教授

CHOI Ga-young 崔 佳英 [韓国] 東京大学 [博士] (社会学): 全北大学社会科学研究所専任研究員 (在全羅北道全州市)

HAO Liang 郝 亮 [中国] 千葉大学 [博士] (人工システム科学): 天津科技大学 機械工程学院教授 (在天津)

HSU Han-hsiu 許 漢修 [台湾] 筑波大学 [博士] (生命産業科学): 株式会社アイジェノミクス・ジャパン

JIN Guiying 金 桂英 [中国] 早稲田大学 (日本語教育学): 関西外国語大学英語国際学部講師

LEE Saebom 李 セボン [韓国] 東京大学 [博士] (地域文化研究): 成蹊大学法学部政治学教授

NORDSTRÖM Karl Johan ノルドストロム カール ヨハン [スウェーデン] 早稲田大学 [博士] (演劇映像学): 日本女子大学国際文化学部国際文化学科准教授

TAMAYO Ruiz Efrain Eduardo タマヨ ルイス エフライン エドアルド [コロンビア] 東京大学 [博士] (先端学際工学)

VIRAG Viktor ヴィラグ ヴィクトル [ハンガリー] 日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学): 日本社会事業大学社会福祉学部准教授

XIE Pu 解 璞 [中国] 早稲田大学 [博士] (日本語日本文学): 武漢大学外国語文学学院副教授 (在武漢)

ZAMENGO Massimiliano ザメngo マッシミリアーノ [イタリア] 東京工業大学 (現: 東京科学大学) [博士] (蓄熱技術): 東京工業大学 (現: 東京科学大学) 物質理工学院助教

ZHANG Liang 張 亮 [中国] 慶應義塾大学 [博士] (医学研究): 杏林大学医学部リハビリテーション医学教室

[2014年度 渥美奨学生]

ABDIN Mohamed Omer アブディン モハメド オマル [スーダン] 東京外国語大学 [博士] (総合国際学): 参天製薬株式会社企画本部 CSR 室

CAKIR Murat チャクルムラット [トルコ] 筑波大学 (教育基礎学): 関西外国語大学英語国際学部准教授 (在大阪)

CHAE Kyeong-hoon 蔡 旻勳 [韓国] 東京芸術大学 (映像メディア学): 韓国映画振興委員会 (KOFIC) 研究員 (在韓国)

GERELCHULUUN Ariungerel ゲレルチュルン アリウンゲレル [モンゴル] 筑波大学 [博士] (疾患制御医学): EagleForce Associates Inc. (在バージニア)

GOGINASHVILI David ゴギナシュヴィリ ダヴィド [グルジア] 慶應義塾大学 [博士] (政策メディア): 在日ジョージア大使館分析官、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

HU Yanhong 胡 艶紅 [中国] 筑波大学 [博士] (歴史・人類学): 華東師範大学馬克思主義学院 (在上海)

KIM Tae-hee 金 兌希 [韓国] 慶應義塾大学 [博士] (政治学): the University of Oldenburg (在ドイツ)

LI Hui 李 暉 [中国] 東京大学 [博士] (建築学): 追手門学院大学文学部講師

LI Ting 李 婷 [中国] 早稲田大学 [博士] (日本語教育学): 日本大学文学部准教授

MOHAMMAD Jakfar Idrus ムハッママー ジャクファル イドルス [インドネシア] 国士館大学 [博士] (政治学): 国士館大学 21 世紀アジア学部准教授

RYU Chung-hee 柳 忠熙 [韓国] 東京大学 [博士] (比較文学比較文化): 福岡大学人文学部東アジア地域言語学科学科准教授 (在福岡)

WANG Huijun 王 慧雋 [中国] 一橋大学 [博士] (日本語教育学): (在上海)

[2015 年度 渥美奨学生]

BURITICÁ ALZATE Juliana ブリテिका アルサテ フリアナ [コロンビア] 国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス): Faculty of Asian and Middle Eastern Studies, University of Oxford Research Associate (在英国)

CASSIM Laila Frances カセム ライラ フランセス [イギリス] 東京芸術大学 [博士] (美術): 東京大学先端技術研究センター特任助教

CHO Guk 趙 国 [韓国] 早稲田大学 [博士] (人文科学): ソウル大学日本研究所客員研究員 (在ソウル)

FELTENS Frank フェルテンズ フランク [ドイツ] コロンビア大学 / 学習院大学 [博士] (美術史考古学): フリーア美術館学芸部門副館長の associate directors for curatorial affairs (在ワシントン DC)

GIGLIO Emanuele Davide ジッリオ エマヌエーレ ダヴィデ [イタリア] 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 身延山大学・国際日蓮学研究所研究員

GRIB Dina グリブ ディーナ [ロシア] 首都大学東京 [博士] (人間科学): 名古屋大学国際機構国際教育交流センター、文学部人文学研究科特任講師 (在名古屋)

KIM Yul-lee 金 律里 [韓国] 東京大学 [博士] (基礎文化研究): 圓光大学校 Research Professor (在ソウル)

LI He-shu 李 赫書 [台湾] 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 天主教輔仁大學宗教學系 (在台湾)

MOON Kyung-nam 文 景楠 [韓国] 東京大学 [博士] (哲学): 法政大学文学部哲学科准教授 (在東京)

PARK Won-hwa 朴 源花 [韓国] 東京大学 (国際社会科学): 東京大学大学総合教育研究センター助教

YAN Shulan 顔 淑蘭 [中国] 早稲田大学 [博士] (教科教育学): 社会科学院文学研究所 (在北京)

YANG Yu Gloria ヤン ユー グロリア [中国] コロンビア大学 / 東京大学 [博士] (美術史): 九州大学大学院人文学研究科広人文学コース講師 (在福岡)

[2016 年度 渥美奨学生]

CHANG Wei-jung 張 瑋容 [台湾] お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際): 同志女子大学現代社会学部社会学部システム学科学科助教 (在京都)

CHO Ah-ra 曹 娥羅 [韓国] ソウル大学 / 慶應義塾大学 (国際地域学) 韓国国立外交院外交安保研究所日本研究センター研究員 (在ソウル)

CHOI Yurina 崔 ユリナ [韓国] 武蔵野美術大学 (造形美術)

HONG Sung-min 洪 性珉 [韓国] 早稲田大学 [博士] (人文科学): 東北亜歴史財団招聘研究委員 (北方民族史専攻) (在ソウル)

JEON Sang-ryul 全 相律 [韓国] 東京大学 (言語情報科学): 神田外国語大学アジア言語学韓国語専攻語学専任講師

JIANG Jianwei 蔣 建偉 [中国] 早稲田大学 [博士] (人文科学): 浙江師範大学外国語学院 (在浙江)

LAMSAL Bikash ラムサル ビカス [ネパール] 足利工業大学 [博士] (情報生産工学): 早稲田大学創造理工学部・研究科建築学学科 建築学専攻准教授

LEE Ji-hyeong 李 志炯 [韓国] 千葉大学 [博士] (デザイン科学): 東洋学園大学現代経営学部デザイン経営コース准教授

LIN Qianqian 林 茜茜 [中国] 早稲田大学 [博士] (教科教育学): 同済大学専任講師 (在上海)

MORRISON Lindsay Ray モリソン リンジー レイ [アメリカ] 国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス): 武蔵大学人文学部英語英米文化学科学科准教授

NAM Eui-young 南 衣映 [韓国] 東京大学 (学際情報学): 中民社会理論研究財団 (在ソウル)

NOH Joo-eun 盧 ジュウン [韓国] 東京大学 (学際情報学)

[2017 年度 渥美奨学生]

AKBARI Hourieh アキバリ フーリエ [イラン] 千葉大学 [博士] (公共研究): 神田外国語大学専任講師

BAJRACHARYA Dinu バズラチャルヤ ディス [ネパール] お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): R & D Bridge Nepal (在カトマンドウ)

CHEN Yan 陳 龔 [中国] 東京大学 (超域文化科学): 京都精華大学マンガ学部専任講師、サンネクアニメーション (株) GM

FASSBENDER Isabel ファスベンダー イザベル [ドイツ] 東京外国語大学 [博士] (国際社会): 関西外大 Asian Studies Program 助教 (在京都)

GUARINI Letizia グアリーニ レティツィア [イタリア] お茶の水女子大学 [博士] (比較社会文化学): 法政大学国際文化学部国際文化研究科准教授

KIM Do-young 金 眺喙 [韓国] 総合研究大学院大学 [博士] (日本歴史研究): 慶北大学校人文学術院 HK 教授 (在大邱)

KINDSTRAND Love シンドストラン ロヴェ [スウェーデン] シカゴ大学 / 上智大学 [博士] (比較文化研究): 東京芸術大学 特別研究員

KOLODZIEJ Magdalena コウオジェイ マグダレナ [ドイツ・ポーランド] デューク大学 / 早稲田大学 [博士] (美術史): 獨協大学外国語学部准教授

OFOSU Joseph Ampadu オフォス ジョセフ アンペドゥ [ガーナ] 東京大学 [博士] (先端エネルギー工学): University of Hertfordshire Assistant Professor (在イギリス)

Park Jong-hyuk 朴 鍾嶺 [韓国] 東京慈恵会医科大学 [博士] (臨床検査医学): 新渡戸文化短期大学 フードデザイン学科学科

SIM Woo-hyang 沈 雨香 [韓国] 早稲田大学 [博士] (教育社会学): 早稲田大学非常勤講師

SONG Han 宋 哈 [中国] 東京大学 [博士] (日本文化研究): フェリス女学院大学文学部日本語日本文学科学科准教授

YANG Guanqiong 楊 冠穹 [中国] 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 東京科学大学 未来社会創成研究院・リベラルアーツ研究教育院准教授

[2018 年度 渥美奨学生]

CHIANG Yung-po 江 永博 [台湾] 早稲田大学 (日本史学): 早稲田大学歴史館助手

CHO Su-il 趙 秀一 [韓国] 東京大学 [博士] (言語情報科学): 翰林大学校日本学研究所 HK 教授 (在韓国春川)

CORBEL Amélie コーベル アメリ [フランス] バリ政治学院 [博士] (比較政治): 早稲田大学 政治経済学術院 講師 (テニューアトラック)

HARITAI PAN Lalita ハリタイパン ラリター [タイ] 東京工業大学 (現: 東京科学大学) [博士] (工学機械): リブ・コンサルティング (在バンコク)

KIM Boram 金 ボラム [韓国] 東京大学 [博士] (電気系工学): サムスン電子総合技術院 (在ソウル)

LIANG Yihua 梁 奕華 [中国] 東京外国語大学 [博士] (言語文化): 広東外国語貿易大学 (在広州)

MIN Dong-yup 閔 東暉 [韓国] 東京大学 [博士] (地域文化研究): 都留文科大学教養学部比較文化学科学科准教授 (在山梨)

SHORINA Dariyagul ショリナ ダリヤグル [カザフスタン] 筑波大学 (国際日本研究): カザフスタン日本人材開発センター非常勤教員

WU Xiaoxiao 武 瀟瀟 [中国] フランス国立高等研究実習院 (EPHE) / 東京大学 (歴史学・文献学): 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター アソシエートフェロー

WUERRER Stefan ヴェーラー シュテファン ヨアキム [オーストリア] 東京大学 (超域文化科学): 武蔵大学専任講師

XIE Fang 解 放 [中国] 東京外国語大学 [博士] (言語文化): 吉林大学外国語学院准教授 (在長春)

YANG Chun-ting 楊 淳婷 [台湾] 東京芸術大学 [博士] (芸術環境創造): 東京芸術大学国際芸術創造研究科特任助教

[2019年度 渥美奨学生]

ALMEREE Nahed アルメリ ナーヘド [シリア] 筑波大学 [博士] (文芸・言語) : (在ダマスカス)

BARANIAK - HIRATA *Zuzanna* バラニャク平田 ズザンナ [ポーランド] お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究) : 成蹊大学専任講師

CHEN Lu 陳 璐 [中国] 東京外国語大学 [博士] (言語文化) : 早稲田大学社会科学総合学術院准教授

CHEN Zhao 陳 昭 [中国] 東京大学 [博士] (文化人類学) : 東京都立大学人間社会学科 社会人類学教室特別研究員 (日本学術振興会 PD)、武蔵野美術大学非常勤講師

FERRÉ Antonin フェレ アントナン [フランス] 東京大学/プリンストン大学 (日本語日本文学) : プリンストン大学博士課程 (在プリンストン)

GUO Chiyang 郭 馳洋 [中国] 東京大学 [博士] (地域文化研究) : 東京大学東アジア藝文書院 (EAA) 助教

JIN Hongyuan 金 弘淵 [中国] 東京大学 [博士] (先端生命科学) : サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社 (在神戸)

KIM Sin-hye 金 信慧 [韓国] 立教大学 [博士] (コミュニティ福祉学) : 早稲田大学人間科学学術院講師

LAI Si-hyu 賴 思好 [台湾] 東京大学 [博士] (東アジア思想文化) : 中央研究院中国文学と哲学研究所 (在台北)

LEE Taek-jin 李 澤珍 [韓国] 東京大学 [博士] (比較文学・比較文化) : 愛知県立大学国語国文学科専任講師 (在長久手市)

NOHARA Jun ノハラ ジュン [フランス] 東京大学 (国際関係論) : 京都産業大学国際関係学部准教授 (在京都)

SERENA Franco セレナ フランコ [イタリア] 慶應義塾大学 [博士] (国際取引法・民法) : 日本大学法学部経営法学科准教授

SHIN Hye-won 申 惠媛 [韓国] 東京大学 [博士] (国際社会・相関社会) : 宇都宮大学国際学部助教

TANG Rui 唐 睿 [中国] 東京大学 [博士] (電気系工学) : 慶應義塾大学理工学研究科総合デザイン工学専攻専任講師

WANG Wenlu 王 雯璐 [中国] 東京大学 [博士] (中国思想文化) : 早稲田大学創造理工学部講師 (テニュアトラック)

XIE Suhang 謝 蘇杭 [中国] 千葉大学 [博士] (人文公共学) : 国文学研究資料館研究員、千葉大学非常勤講師

[2020年度 渥美奨学生]

CHO So-jin 趙 沼振 [韓国] 東京外国語大学 [博士] (国際社会) : 淑明女子大学講師 (在ソウル)

KOO Hye-won 具 慧原 [韓国] 東京大学 [博士] (美学芸術学) : 東工大研究員 (在プサン)

LEE Su-jin 李 受眞 [韓国] 東京学芸大学 [博士] (教育方法論講座) : 順天堂大学スポーツ健康科学部助教

LIU Yi-chen 劉 怡臻 [台湾] 明治大学 (文化領域) : 東京語文学院

MAIERDANJIANG Nuermaimaiti マリダンヌルマイマイティ [中国] 順天堂大学 (医学研究科神経学) : 順天堂大学研究員

MIAO Fengke 苗 鳳科 [中国] 中央大学 [博士] (国文学) : 中央大学文学部兼任講師

NEWBERY PAYTON Christopher Laurence ニューベリー ベイトン クリスタファー ローレンス [イギリス] 東京外国語大学 [博士] (言語文化) : 成城大学社会イノベーション学部専任講師、東京外国語大学非常勤講師

SHISHKIN Victor シーシキン ヴィクター [ロシア] 東京大学 [博士] (システム創成学)

WU Ching-wen 呉 勤文 [台湾] 筑波大学 [博士] (国際日本研究) : 文藻大学日本語学専攻助教 (在高雄)

YANG Sung-yun 梁 誠允 [韓国] 東京大学 [博士] (日本文化研究) : 高麗大学人文社会デジタル融合人材養成事業団 (HUSS) 研究教授 (在ソウル)

YONG Xu 雍 旭 [中国] 電気通信大学 [博士] (機械知能システム学) : 中国科学院 (在深圳)

YU Ning 于 寧 [中国] 東京大学 (超域文化科学) : 東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 D&I 部門特任研究員、国際基督教大学ジェンダー研究センター研究員、中央大学理工学部非常勤講師

YUAN Xiaoyu 元 笑予 [中国] 東京学芸大学 [博士] (学校教育学) : 帝京平成大学人文社会学部講師

YUN Jae-un 尹 在彦 [韓国] 一橋大学 [博士] (国際関係論) : 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 准教授

[2021年度 渥美奨学生]

BIN MOHAMMAD SOFIAN Mohd Hafiz Hilman ビン モハマド ソフィアン モハマド ハフィズ ヒルマン [マレーシア] 芝浦工業大学 [博士] (機能制御システム) : 日立 Astemo 株式会社

CHAN Ya-hsun 詹 亜訓 [台湾] 東京大学 [博士] (国際社会科学) : 国立陽明交通大学 社会と文化研究科助理教授 (在台湾)

CHEN Xi 陳 希 [中国] 東京大学 [博士] (地域文化研究) : 中央大学経済学部専任教員 (助教)

CHEN Yijie 陳 藝婕 [中国] 総合研究大学院大学 [博士] (国際日本研究) : 上海大学美術学院講師 (在上海)

CHIANG Hsun-yi 蔣 薰諠 [台湾] 東京大学 [博士] (アジア文化研究) : 中央研究院ポストドク (在台北)

CHO You-kyung 曹 有敬 [韓国] 東京大学 [博士] (美学芸術学) : 日本学術振興会特別研究員 PD (東京藝術大学)

GUO Lifu 郭 立夫 [中国] 東京大学 [博士] (地域文化研究) : 筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 助教

HU Shi 胡 石 [中国] 東京農工大学 [博士] (生物機能システム科学) : 日産化学株式会社

KAKIN Oksana カキン オクサナ [ロシア] お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究) : 国立研究大学経済高等学院 (HSE University) アジア・アフリカ研究科日本文学専攻講師 (在サンクトペテルブルク)

LEE Chung-sun 李 貞善 [韓国] 東京大学 [博士] (文化資源学) : 東京大学大学院人文社会系研究科・次世代人文学開発センター特任助教/東京大学先端科学技術研究センター連携研究員

LI Dian 李 典 [中国] 慶應義塾大学 [博士] (分子生物学) : University of Pennsylvania School of Veterinary Medicine Department of Biomedical Sciences 研究員 (在フィラデルフィア)

LI Zhaoxue 李 趙雪 [中国] 東京藝術大学 [博士] (日本・東洋美術史研究) : 南京大学芸術学院特任副研究員 (在南京)

WANG Xingfang 王 杏芳 [中国] 東京大学 [博士] (法政治学 (総合法政)) : 東京大学法政治学研究所附属ビジネスロー・比較法政研究センター特任講師

YUE Qu 楽 曲 [中国] 早稲田大学 [博士] (人文科学) : 北京師範大学文学部講師

[2022年度 渥美奨学生]

AHN Eun-byul 安 ウンビョル [韓国] 東京大学 [博士] (学際情報学) : 京都女子大学現代社会学部専任講師

CHEDDADI Mohammed Aqil シェッターディ モハムド アキル [モロッコ] 慶應義塾大学 [博士] (政策・メディア研究) : 慶應義塾大学総合政策学部 訪問講師 (招聘)

CHEN Hongyu 陳 虹宇 [中国] 東京大学 [博士] (薬科学) : 大塚製薬株式会社 CMC 本部合成研究部研究員

DING Yi 丁 乙 [中国] 東京大学 [博士] (美学芸術学) : 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院専任講師 (在札幌)

HIROTA Chieko 廣田 千恵子 [日本] 千葉大学 [博士] (人文公共学) : 学術振興会海外特別研究員 (オーストラリア国立大学)

JO Byeong-wook 趙 炳郁 [韓国] 東京大学 [博士] (知能機械情報学) : 東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻助教

KATO Kenta 加藤 健太 [日本] 早稲田大学 (国際コミュニケーション研究) : 明治大学商学部専任講師

KONDO Shinji 近藤 慎司 [日本] 横浜国立大学 [博士] (化学・生命系理工学) : 大阪大学大学院基礎工学研究科助教

MOHARRAMPOUR Zahra モハッラミプール ザヘラ [イラン] 東京大学 [博士] (超域文化科学) : 国際日本文化研究センター特任助教 (在京都) 上廣国際日本学研究所

MORI Takato 森 崇人 [日本] 総合研究大学院大学 [博士] (高エネルギー加速器科学研究) : 立教大学理学部物理学科助教

PARK Joon-hee 朴 峻喜 [韓国] 埼玉大学 [博士] (人文社会科学研究) : 同志社大学社会学部産業社会学部助教 (在京都)

PROKHOROVA Maria プロホロワ マリア [ロシア] 東京外国語大学 [博士] (比較文学研究) : 東京外国語大学言語文化学部ロシア語特定外国語教員

QIAN Haiying 銭 海英 [中国] 明治大学 [博士] (教養デザイン研究) : 明治大学リベラルアーツ研究所客員研究員、成城大学文芸学部非常勤講師、神奈川大学外国語学部非常勤講師、日本大学法学部非常勤講師

TAKEUCHI Kyoko 武内 今日子 [日本] 東京大学 [博士] (社会文化研究) : 関西学院大学助教

TAN Tianyang 譚 天陽 [中国] 一橋大学 [博士] (法学研究 (法学・国際関係)) : 一橋大学大学院法学研究科講師

WEINEK Nora Beryll ワイネク ノーラ [オーストリア] 一橋大学 (総合社会科学)

[2023年度 渥美奨学生]

CHANG Jun Shi チャン ジュンシ [マレーシア] 東京大学 [博士] (化学) : Dayra Therapeutics Research Scientist

ENKH-AMGALAN Onon エンフアムガラン オノン [モンゴル] 東京外国語大学 (世界言語社会) : モンゴル国立大学モンゴル語学科非常勤講師 (在ウランバートル)

HE Xingyu 何 星雨 [中国] 東京学芸大学 [博士] (児童学研究) : 東京家政大学栄養学部非常勤講師、文教大学教育学部非常勤講師、実践女子大学生活科学部非常勤講師

HUANG Jo Hsiang 黄 若翔 [台湾] 東京大学 [博士] (総合法政) : 国立清華大学科技法律研究所 助理教授 (assistant professor) (在台北)

JIA Haitao 賈 海涛 [中国] 一橋大学 [博士] (言語社会) : 一橋大学言語社会研究科講師

KIM Heecheol 金 希哲 [韓国] 東京大学 [博士] (知能機械情報学) : Microsoft Research Asia Tokyo (品川、東京)

KRAFT Robert クラフト ロバート [ドイツ] 筑波大学 [博士] (日本史学) : (在ドイツ)

KUGO Kasumi 久後 香純 [日本] ビンガムトン大学/早稲田大学 (美術史) : 日本学術振興会特別研究員 PD (京都大学)

KUSUDA Yuki 楠田 悠貴 [日本] 東京大学 (西洋史学) : 岡山大学文学部非常勤講師、立正大学文学部非常勤講師、立命館大学言語教育センター嘱託講師

MA Geyang 馬 歌陽 [中国] 早稲田大学 [博士] (美術史学)、復旦大学文史研究院 PD

OMINO Akira 小美濃 彰 [日本] 東京外国語大学 (日本近現代史) : 東京都公文書館史料編纂担当

SHIRAKAWA Makoto 白川 誠 [日本] 東京大学 [博士] (森林科学) : 千葉工業大学 先進工学部 生命科学科 森林園微生物学研究室助教 (在千葉)

SIM Minseop シム ミンソプ [韓国] 一橋大学 (総合社会科学) : ロンドン大学衛生熱帯医学大学院熱帯疾病研究所特別訪問研究員 (在ロンドン)

SOMEYA Rinako 染谷 莉奈子 [日本] 中央大学 [博士] (社会学) : ルンド大学 (在スウェーデン) (~ 2027年3月まで)

TOKUNAGA Yoshiaki 徳永 佳晃 [日本] 東京大学 [博士] (地域文化研究) : 広島大学大学院教育学部助教

XU Zixin 徐 子焮 [中国] 東京大学 [博士] (生殖発達加齢医学) : 獨協医科大学病院研修医 (在栃木)

[2024年度 渥美奨学生]

CHOE Min-hyeok 崔 民赫 [韓国] 東京大学 (総合法政)

CHOI Go-eun 崔 高恩 [韓国] 東京大学 (言語情報科学)

GU Jiachen 顧 嘉晨 [中国] 東京大学 [博士] (アジア文化研究) : 東京大学 東洋文化研究所 特任研究員

Idrus イドゥルス [インドネシア] 筑波大学 [博士] (国際日本研究) : アンダラス国立大学人文学部日本語学科専任教師 (在西スマトラ州バダン)

IDZIEVA Diana イドジエヴァ ジアーナ [ロシア] 東京外国語大学 (世界言語社会) : 東京外国語大学非常勤講師、慶應義塾大学非常勤講師、津田女子大学非常勤講師

IWATA Kazuma 岩田 和馬 [日本] 東京外国語大学 (世界言語社会) : 千葉商科大学非常勤講師、東京外国語大学非常勤講師、東京外国語大学ジュニアフェロー

KUROTAKI Kana 黒滝 香奈 [日本] 一橋大学 [博士] (日本近現代史) : 武蔵野大学文学部専任講師

LUXMIWATTANA Motoki ラクスマワタナ モトキ [タイ] 早稲田大学 (国際関係学)

MASNIN Mohd Farez Syinon Bin マスニン ムハムマド ファリス シノン ビン [マレーシア] 早稲田大学 (社会言語学) : 金沢星稜大学国際交流センター特任講師 (在金沢)

MASTIYAGE DON Sudeera Hasaranga Gunathilaka マスティヤゲドン スディエラ ハサランガ グナティラカ [スリランカ] 東京工業大学 (現: 東京科学大学) [博士] (情報工学系知能情報) : 国立研究開発法人産業技術総合研究所 (在つくば)

OKUDA Genki 奥田 弦希 [日本] 東京大学 (西洋史学) : ウィーン大学博士課程 (在ウィーン)

OMOTO Keiko 大元 慶子 [日本] 関東学院大学 (社会 (障害) 学)

QIU Zhengpeng 邱 政凡 [台湾] 東京大学 (言語情報科学) : 早稲田大学台湾研究所招聘研究員

SATO Yuna 佐藤 祐菜 [日本] 慶應義塾大学 (南オーストラリア大学大学院) [博士] (社会学) : 東海大学国際学部国際学科 (特任講師)

YAN Zhixiang 閻 志翔 [中国] 東京藝術大学 [博士] (日本・東洋美術史) : 日本学術振興会特別研究員 PD (京都大学)

ZHANG Jun 張 琚 [中国] 東京大学 [博士] (アジア文化研究) : 廈門大学歴史学院助理教授

[2025年度 渥美奨学生]

DABROWSKA Juanita Roksan ドムプロフスカ フアニタ ロクサナ [ポーランド] 立教大学 (異文化コミュニケーション) : ワルシャワ大学日本語学科講師

ENKHBAYAR Nomin-Erdene エンヒバイヤル ノミンエルデネ [モンゴル] 筑波大学 [博士] (人文学) : 流通経済大学非常勤講師、芝浦工業大学非常勤講師、筑波大学非常勤講師

KANG Suk-Jung 姜 錫正 [韓国] 日本女子大学 [博士] (史学) : 総本山醍醐寺霊宝館学芸員、日本女子大学文学部歴史文化学科特別研究員 (PD)

LEE Jae-Chang 李 在昶 [韓国] 東京大学 (言語情報科学)

LIU Sheldon 廖 嘉祈 [香港] 東京大学 (アジア文化研究) : 武蔵高校非常勤講師

LU Mengyao 路 夢瑤 [中国] 武蔵野美術大学 [博士] (造形構想) : 京都芸術大学情報デザイン学科専任講師

MIYAUCHI Ai 宮内 愛 [日本] 聖路加国際大学 [博士] (助産学) : 聖路加国際大学ウイメンズヘルス・助産学助教

NGUYEN Gia Thoai Du グエンヤトアユー [ベトナム] 東京外国語大学 (世界言語社会) : 東京外国語大学特別研究員

NISHIMOTO Kazuki 西本 和生 [日本] 東京大学 [博士] (知能機械情報学) : カリフォルニア大学ロサンゼルス校ポスドク研究員

NODA Tomohito 野田 智仁 [日本] 東京大学 [博士] (生物科学) : 沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

OKAMOTO Satomi 岡本 聡美 [日本] 千葉大学 [博士] (看護学) : 東京都健康長寿研究センター研究員

SHERWEEDY Sarah Sayed Mohamed Elsayed シルウィーディ サラ サイドムハマド エルサイド [エジプト] 東京外国語大学 [博士] (国際日本) : 東京外国語大学非常勤講師及び特別研究員

SPANIO Fabio スパノ ファビオ [イタリア] 国際基督教大学 (アーツサイエンス) : 桜美林大学非常勤講師

UMEMOTO Ikuo 梅本 育恵 [日本] 東京慈恵会医科大学 (脳病態制御学) : 国立精神神経医療研究センター研究員

XU Yue 許 樂 [中国] 慶應義塾大学 (政治学) : 慶應義塾大学非常勤講師、東洋大学非常勤講師

YANG Jiaxin 楊 家鑫 [中国] 筑波大学 (歴史・人類学)

[2026年度 渥美奨学生]

BAHAROM Mohamad Basil Hazman bin バハロム モハマド バシル ハズマン ビン [マレーシア] 早稲田大学 (政治、宗教)

BANERJEE Deepro ベナルジ ディプロ [インド] 創価大学 (情報システム工学)

FUJII Keisuke 藤井 佳祐 [日本] 京都大学 (地域環境科学)

HAN Sang-Hyun 韓 相賢 [韓国] 早稲田大学 (東洋史学)

HUANG Jing ファン・ジン [中国] 東京藝術大学 (芸術学)

KAO Yuyu 高 雅郁 [台湾] 立命館大学 (先端総合学術)

KIM Ban-Seok 金 磐石 [韓国] 東京大学 (社会学)

LEE Antonia Beatrice Dans リー アントニャア ベアトリス ダンス [フィリピン] 東京大学 (アジア情報社会)

LEE Jung-Hu イジョンフ [韓国] 大阪大学 (生物発想化学工学)

LINDEN Daniel リンデン ダニエル [ドイツ] 早稲田大学 (国際公法)

MASUDA Kiwako 益田 喜和子 [日本] 慶應義塾大学 (文化人類学)

MUKAI Felipe Naotto 向井 直人 [ブラジル] 筑波大学 (国際日本研究)

MURUGESWARAN Priya ムルゲシュワラン プリヤ [インド] 東京大学 (アジア情報社会)

RYU Areum 柳 雅凜 [韓国] 早稲田大学 (国際関係学)

TAMAHIDE Shoha 瑞秀 昭葉 [日本] 東京大学 (地域文化研究)

WANG Ziwei オウ シーウェイ [中国] 大阪大学 (老年・総合内科)

YAMAGISHI Tetsuya 山岸 哲也 [日本] 東京都立大学 (社会行動学)

YAMAOKA Haruki 山岡 陽輝 [日本] 慶應義塾大学 (政治学)

2025年度の活動にご協力いただいた皆様

ありがとうございました

奨学事業及び公益目的事業への寄附・賛助・支援

団体

| | | |
|-------------------|------------------|------------|
| (株) アクト・テクニカルサポート | ケミカルグラウト(株) | 中外製薬(株) |
| 大和証券(株) | (株) イリア | 鹿島建設(株) |
| 鹿島リース(株) | 鹿島プロパティマネジメント(株) | 鹿島道路(株) |
| 鹿島建物総合管理(株) | (株) かたばみ | (株) 三井住友銀行 |
| 大興物産(株) | 東亜産業(株) | |

個人

渥美伊都子 藤井純一 井手園子

国際交流事業への寄附・賛助・支援

団体

| | | |
|-------------------|------------------|---------|
| (株) アクト・テクニカルサポート | 鹿島プロパティマネジメント(株) | 鹿島道路(株) |
| 鹿島建物総合管理(株) | (株) 小堀鐸二研究所 | 大興物産(株) |
| (株) 虎屋 | (株) 都市環境エンジニアリング | |

個人

| | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|--------------|
| 阿部和彦 | 雨宮孝子 | 網倉和仁 | 蟻川芳子 | 浅野豊美 |
| 渥美恵子 | 渥美美恵子 | 渥美直紀 | 福田孝晴 | 高 偉俊 |
| グリップ ディーナ | 橋本留理子 | 平野 聡 | 堀田健介 | 市川智生 |
| 井手園子 | 今西淳子 | 石田弘幸 | 岩崎統子 | 鹿島順介 |
| 金子 宏 | 金子成彦 | 河村一雄 | 川崎 剛 | 金 外淑 |
| 金 雄熙 | 小泉博義 | 久保哲也 | 熊野 隆 | 功刀欣弥 |
| 李 恩民 | 李 鋼哲 | 前川麻里 | 皆川倫子 | 三澤正勝 |
| 杜 雲翼 | 村田雄二郎 | 永山 治 | 中村金郎 | 中曾根弘文 |
| 中谷俊信 | 野村維男 | 沼田正博 | 大曲貴夫 | 尾島俊雄 |
| 岡本 章 | 大内聖子 | 大脇正志 | 利穂吉彦 | ポラス ロハス オスカル |
| 真辺文宏 | 佐野みどり | 瀬谷啓二 | 施 建明 | 島居 潤 |
| 嶋津忠廣 | 白石勝己 | 鈴木由美子 | 末永 航 | ヤロスラブ・シュラトフ |
| 高橋 甫 | 高橋信之 | 高橋 司 | 戸河里 敏 | 遠山友寛 |
| 角田英一 | 内田 顕 | 上野 宏 | 上保紀夫 | 武 玉萍 |
| 山下真一郎 | 米田 稔 | 由田哲也 | 吉留可織 | 于 曉飛 |
| 匿名1名 | | | | (敬称略) |

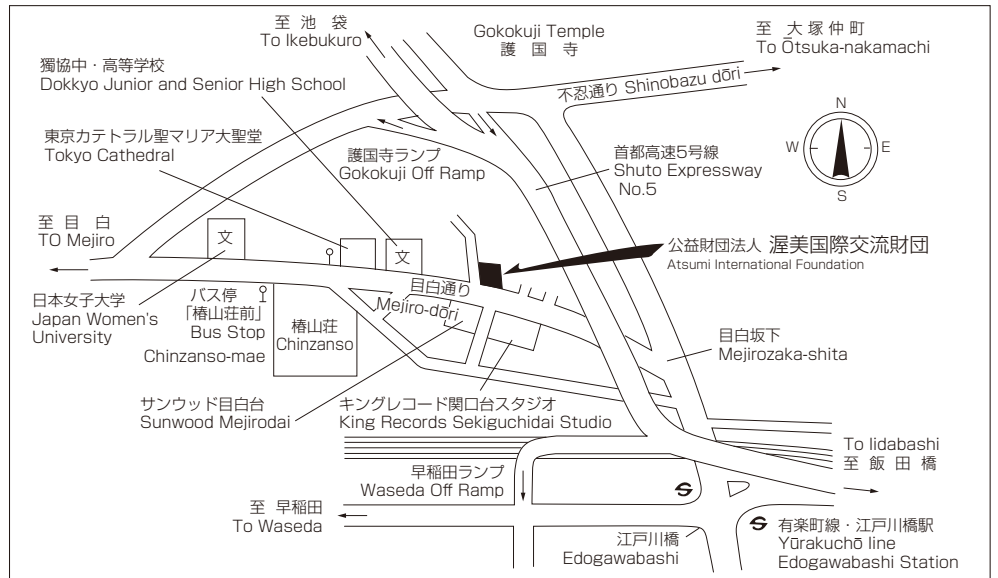
公益財団法人 **渥美国際交流財団**
ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION

〒112-0014 東京都文京区関口3丁目5番8号
3-5-8 Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 112-0014 Japan

PHONE: 03-3943-7612 FAX: 03-3943-1512

E-MAIL: atsumifoundation@aisf.or.jp

<http://www.aisf.or.jp>



- JR山の手線目白駅より、都バス61番 新宿駅西口行、「椿山荘前」下車・徒歩3分
Take the 61 bus from Mejiro Station (JR Yamanote line) and get off at the “Chinzansomae” stop. 3 min. walk.
- 東京メトロ有楽町線「江戸川橋」(出口A1)
下車・徒歩10分
Get off at Edogawabashi station from the Yurakucho subway line. (A1 exit 10 min.walk)

発行者：公益財団法人渥美国際交流財団

発行日：2026年5月27日

発行責任者：渥美直紀

印刷：株式会社藤印刷



ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION ANNUAL REPORT 2025

2025年度 公益財団法人 渥美国際交流財団 年報